

第六十五回帝國議會 衆議院 臨時米穀移入調節法案外二件委員會會議錄(速記)第六回

會 議

昭和九年三月二十日(火曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 胎中楠右衛門君

理事山口忠五郎君 理事池田 秀雄君

河野 一郎君 八田 宗吉君

高橋熊次郎君 武田德三郎君

島田七郎右衛門君 田中 貞二君

松山常次郎君 庄 晋太郎君

大本貞太郎君 三善 信房君

佐藤 重遠君 東 武君

福井 甚三君 野村 嘉六君

高田 耘平君 川崎 克君

櫻井兵五郎君 原 淳一郎君

深水 清君 小山 谷藏君

出席國務大臣左ノ如シ

内閣總理大臣子爵 齋藤 實君
兼文部大臣 後藤 文夫君

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

内閣書記官長 堀切善次郎君

農林政務次官子爵 織田 信恒君

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

朝鮮總督府農林局長 渡邊 忍君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時米穀移入調節法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○胎中委員長 前日ニ引續キ是ヨリ開會致

シマス——河野君

〔委員長退席、池田委員長代理著席〕

○河野委員 大臣ガ御見エニナルマデ政府

委員ニ御尋致シマス、先ヅ第一ニ勅令ノ内

容ニ付テ御尋シマス、先日政府カラ戴キマ

シタ勅令ノ内容ヲ拜見致シマス、本法ノ

最モ重點ト見ルベキ、外地米ノ買上並ニ賣

渡ガ勅令ニ讓テアル、而モ其勅令ノ内容

ニ付テ戴キマシタ要領ハ、之ヲ朗讀致シマ

シテモ吾々ハ諒解スルコトガ非常ニ困難ナ

ノデアリマス、ソコデ此買上賣渡ノ方法ニ

對スル御説明ヲ願ヒマス

○荷見政府委員 此臨時米穀移入調節法ニ

規定致シテアリマス米穀ノ買入ノ價格ト、

ソレカラ賣渡ニ關スルコト、ノ、二ツノ勅

令ニ規定スベキ事項ニ付テノ御説明ヲ、ソ

レデハ簡單ニ申上ゲマス、勅令ニ規定スベ

キ事項ハ、臨時米穀移入調節法デハ、第二

條ニ一定價格ト云フコトガ勅令デ定メルコ

トニナツテ居リマス、此一定價格ト申シマ

スノガ、朝鮮米又ハ臺灣米ヲ買入レマス時

ノ一ツノ制限ニナルノデアリマス、ソレデ

第二條ノ規定ヲ申上ゲテ見マス、詰リ「前

條ノ規定ニ依リ買入ルル米穀ノ價格ハ勅令

ノ定ムル一定價格以內ニ於テ時價ニ準據シ

テ之ヲ定ム」ト云フコトニナツテ居リマスノ

デ、第一ハ時價ニ準據シテ買入ヲスルト云

フコトニナルノデアリマス、此時價ノ採リ

方、其他ニ付キマシテハ、從來米穀統制法

ノ規定ニ於キマシテモ、時價ニ準據シテ之

ヲ定ムト云フコトガアリマシテ、是ハ行政

付託議案

臨時米穀移入調節法案(政府提出)

政府所有米穀特別處理法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

官廳デ時價ノ認定ヲ致シマシテ買入ヲ致シ

マスノデ、長イコト米穀法以來實行致シテ

居リマスガ、別ニ勅令ヲ以テ其方法ナド規

定シタコトハナイノデアリマス、唯今同ノ

買入ニ付キマシテハ、其時價ガ非常ニ高イ

時ニナリマス、此法律ノ運用ニ困難ナ點

ガアリマスノデ、ソレハ大體其時價ニ準據

シテ買フト申シマシテモ、其時價ガドノ位

ノ程度デアル場合ニ買フカト云フコトヲ、

決メル爲ニ「勅令ノ定ムル一定價格以內」

ト云フ文字ヲ使ヒマシタ、其勅令ノ内容

ハ先般御要求ガアリマシテ、其草案ヲ此

處ニ御覽ヲ願フタ譯デアリマスガ、其規定

ハ「臨時米穀移入調節法第二條ノ一定價格

ハ内地米トノ格差其ノ他經濟事情ヲ參酌シ

農林大臣之ヲ定ムルコト」ト致シタノデア

リマス

○河野委員 只今御説明ノ内地米トノ格

差、其他經濟事情トアリマスガ、内地米ト

ノ格差ト申シマス、其格差ハ大體ドノ位

ニナリマス、經濟事情ハ所謂統制法デ指

シテ居ル所ノ經濟事情ノ意味ト、同じ意味

ニ解釋シテ宜シイカドウカ、ソレカラ格差ヲ採ル基準トナルベキ内地米ノ價格ハ、ドノ價格ヲ指スノデアリマスカト云フ三點ヲ御尋致シマス

○荷見政府委員 内地米トノ格差ハ、其時其時ノ米穀事情デ毎年變更致シマスガ、大體私共ノ見テ居ル所デハ、米穀統制法デ米價ヲ幾ラ位デアアルカト云フコトヲ認定シマス爲ニ、深川、神田川或ハ大阪ノ市場等ニ於キマス各標準中米トシテ用ヒラレテアルモノヲ指定致シテアリマスガ、アレラノ銘柄等級ノモノヲ、内地米ノ値段ヲ見マス時ノ標準ニ用ユル積リデアリマス、ソレカラ朝鮮ニ於キマシテハ、只今ヤッテ居リマス矢張朝鮮ニ於ケル代表銘柄ノモノヲ用ヒル豫定デ居リマス、其價格ノ格差ヲ取ルノデアリマスガ、是ハ時ニ依ッテ違ヒガアルコトハ、只今申上ゲタ通りデアリマスカラ、其如何ナル時期ヲ取ルカト云フコトハ、マダ確定致シテ居リマセヌガ、相當期間ノ間ノ格差ヲ見テ參ラナケレバナラスト、斯様ニ思ッテ居リマス、ソレカラ經濟事情ハドウ云フノデアアルカト云フト、是ハ今ノ米穀統制法ニモ經濟事情ト云フコトガアリマシテ、其經濟事情トシテ參酌スルモノハ、結局運賃諸掛リト云フコトニ勅令ニ書イテア

リマスカラ、此經濟事情ハ、運賃諸掛リト云フコトガ主ニナリマス、其他ノコトハマダ明確ニ決定シテ居リマセヌ

○河野委員 ソレカラ其基準トナルベキ内地米ノ價格ト云フコトハ、詰リ其基準トナルベキ内地米ノ價格、ソレニ對シテ格差ヲ見テ、其格差ニ對シテ運賃諸掛リヲ加ヘタナラバ、ソコニ朝鮮米ノ價格ガ決ッテ來ルト思ヒマスガ、其基準トナルベキ内地米ノ價格ハドノ内地米ノ價格ヲ御採リニナルカ、統制法ニ依ル最低價格ヲ御採リニナルカ、最低價格以外ニドウ云フモノヲ基準トスルカト云フコトヲ、御明示ヲ願ヒタイ

○荷見政府委員 只今ノ指定シマシタ銘柄等級ノモノ、其時々々ノ價格ヲ大體標準トシナケレバナラスト思ヒマスガ、其時ト云フノガ如何ナル期間ヲ採ルカト云フ問題ハ、マダ十分ニ決ッテ居リマセヌガ、或ハ一箇月ナリ、或ハ三箇月ト云フヤウナ趨勢ヲ取ッテ格差ヲ出スコトニシナケレバナラスト思ヒマス

○河野委員 私ノ御尋スルノハ違フノデス、内地米ノ指定スベキモノハ、茨城ノ四等デモ、兩備ノ四等デモ宜シイガ、其茨城ノ四等、兩備ノ四等ト云フノガ、幾ラニナッタ時ニ朝鮮米ヲ買上スルトカ、乃至ハ其値段ノ幾ラ位ヲ標準ニ、例ヘバ内地ノモノニ

十三圓三十錢ヲ採ルカ、二十三圓五十錢ヲ採ルカ、二十一圓ヲ採ルカ、二十圓ヲ採ルカ、大體内地ハ二十三圓三十錢ヲ最低價格トスルノデスカラ、其最低價格カラ運賃、諸掛、格差ヲ見テ、朝鮮ノ價格ヲ決メルカ、内地ガ二十三圓三十錢ヨリ上ノ方ニ兩備ノモノデモナッタ時ニ買上ゲルカ、其根本ガ決レバ、ソコニ於テ朝鮮ノ値段ガ出デ來ルガ、其値段ハ何處ニ採ルカト云フ問題デス

イ場合ニナルト、一面ニ朝鮮米——朝鮮米バカリデハアリマセヌガ、米價ヲ特ニ最低價格ヨリ以上ニ著シク持ッテ行クト云フコトモ、刻下ノ財政デハ如何カト思ハレマスノデ、其點ハ相當數量ノ買上ガ出來マシテ、朝鮮米ノ數量ノ壓迫ニ因ル價格ノ脅威ト云フモノガ、省キ得ル程度ニ見ナケレバイカヌト思ヒマスルガ、ソコハ其時々々ノ米穀事情ニ依ッテ、認定デ行クヨリ外ハナイト思ッテ居リマス

○荷見政府委員 只今ノ御話ハ、吾々ト致シマシテハ、米穀統制法ノ規定ガアリマシテ、米價ハ最低價格以上ニアルコトヲ目標ニシテ居ルノデアリマスカラ、最低價格ヨリ以下ノモノヲ此基準ニ採ルコトハ、絶對ニナイト云フコトヲ申上ゲラレマス、ソレハ最低價格ヨリ少シデモ出レバ、ソレハ買上ヲシナイカト云フ問題ガアリマスガ、是ハ數量ノ調節ニ依リマシテ、其結果價格ガ調節サレルコトヲ目的トシテ居ルノデアリマスカラ、或ル程度ニ米穀ノ買上ガ出來テ、隨テ朝鮮米、臺灣米ノ壓迫ヲ排除シ得ルト云フヤウナ場合デナケレバイケマセヌカラ、ソレハ最低價格以上ニ於テモ、買上ゲルコトガアルノデアリマシテ、最低價格以上ノモノヲ買上ゲル場合ハ、基準トシテアリ得ルト思ヒマス、併シソレモ非常ニ高

○河野委員 ソコデ大臣ニ御尋シマスガ、只今ノ政府委員ノ御答ニ依リマス、最低價格以下デ買フコトハ絶對ニアリ得ヌト言ハレル、ソレハ私モ諒承致シマス、併シ最低價格以下ヲ基準ニシテ、ソレカラ格差ヲ引イタ、ソレニ運賃、諸掛ヲ加ヘタモノト云フ、所謂朝鮮ニ於ケル最低價格以下デ買フコトハナイ、ソレハ諒承シマスガ、ソレヨリ上ハ大體腰ダメデヤルノダ、認定デヤルノダト云フヤウナ御答ノヤウデアリマシガ、私モサウ云フ風ニ此法律ノ結論ハナルダラウト思フ、サウ云フ風ニナリマス、内地ノ米穀統制法——農林省ノ當局ノ考ヘル内地ノ米穀對策ハ、内地ノ米價ヲ、最低價格ヨリ上、最高價格ヨリ下ト、最高最低ノ中間ニ置イテ置ケバ、ソレ以上ハ餘リニ

積極的ニ發動シナイト云フコトニナッテ居ル、所謂價格ヲ目標トシタ調節ヲスルコトガ、米穀政策ノ目標ニナッテ居ルヤウニ吾等ハ諒承シテ居ル、例ヘバ數量の需給ノ關係カラ考ヘテ行キマス、多少米ハダブ附イテ居ッテモ、數字カラ見レバ、持越米ガハ百萬石アラウガ、七百萬石アラウガ、價格ガ最低米價ノ二十三圓三十錢ヨリモ上ニアルナラバ、政府トシテハ積極的ニ内地ノ米ノ買上ヲヤラナイ、米穀政策ハヤラナイト云フヤウニナッテ居ルノガ、私ハ米穀統制法ノ根本ノ建前デアルト思フ、所ガ今度朝鮮並ニ臺灣ヲ施行致シマス所ノ臨時米穀對策ハ、今政府委員ノ御説明ニナリマスヤウニ、ソレヨリモ値段ハ上デアッテモ腰ダメデアル場合ガアル、例ヘバ朝鮮ノモノ、内地移入ヲ調節スル爲ニ、モット極端ニ申シマスナラバ、先日來政府委員カラ御説明ニナリマシタ大體一億五千萬圓ノ金ヲ使ッテ七百萬石ノ米ヲ買フヤウナ意味合ヲ基準ニシテ——七百萬ガ五百萬ニナルカモ知レヌガ——大體向フデ米ヲ買フ意味ニ於テ、ソレヨリモ高イ値段デ米ヲ買フノダ、ソレハ何處マデ上ルカ知ラヌガ、大體腰ダメデ買フノダト云フ御説明ニ結論ガナル、サウスルト私ノ御尋シタイノハ、政府ノ米穀政

策ハ内地ノ米穀統制法ヲ中心ニシテ、之ヲ以テ政府ノ米穀對策ノ根幹ニシテ、米穀對策ヲオヤリニナルカ、即チ二十三圓三十錢ヨリモ米價ヲ上廻ラシテ置ク爲ニ、ソレヨリモ下ル虞ガアッタ時ニ、朝鮮ノ米ヲ買フノダト云フコトガ主力、サウデヤナイ、朝鮮カラ内地ヘ入ッテ來ル米ヲ統制スルコトガ主デアッテ、今度ノ法律ヲ御出シニナリ、政府ハ米穀政策ヲ御進メニナルノカ、孰レカ其點ヲ明ニシテ戴キマセヌト、ソコニ矛盾ヲ來シテ來ルト私ハ思フノデス、農林大臣ノ御所見ヲ一ツ承ッテ置キタイ

徹底スルコトノ、動モスルト困難ナラントスル事情ガ、臺灣米ノ壓迫ニ依ッテアリマスカラ、ソレヲ除カントスルノデアリマスガ、併シ其手段トスル所ハ、ヤハリ季節調節ノヤウナ形ヲ採ッテ居リマスカラ、吾々ハ米穀統制法ノ運用ニ依ッテ、米穀統制法ノ最低價格ヲ維持シテ居レバソレデ宜インダト云フノハ、非常ニ危險ナノデアリマシテ、最低價格ノ上ヘ上ヘト廻ラセルヤウニ出來ル限リ仕向ケテ行クコトガ、統制法ノ精神ニナリマスカラ、ソレヨリモ上ニナルコトハ自然ノ經濟事情ノ中ノ動キニ委セルコトニナリマスケレドモ、隨テ臺灣米ノ買入モサウ云ツタ趣旨デ運用サレルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ

ガ少クモ今農林大臣ノ御話ノヤウニ、向フノモノヲ最低價格ヨリ上廻ラセル爲ニ補強的ニ朝鮮ノ出廻調節ヲヤルンダ、而モソレガ多少上廻ッテモヤルンダ、斯ウ云フ御説明デ、其説明ガ徹底シマスレバ、其買上ノ場合ニハ吾々ハ一應諒承スルノデアリマス、所ガソレナラ前例ニ徴シマス、政府ノ今迄ノ御實施ニナリマシタ外地米ノ季節調節ノ買上ノ實績ヲ見マス、申込ノアッタモノサヘ買ハズニ置イテアル、而モ米價ノ實情ヲ見マス、米價ハ決シテ最低價格ヨリ上廻ッテ居ラス、最低價格ヨリ上廻ッテ、今農林大臣ノ御話ノヤウニ、非常ニ高ク上ヘ上ッテ居ルナラバ、其程度ノ認識デアリマスカラ、是ハ議論ハシマセヌガ、上ヘ上ッテ居ルナラバソレヲ全部買ハナクテモ宜シイ、併シ上ニモ上ッテ居ラス、而モ申込ンダ數量ハ少イカト云フト、申込ンダ數量ガ相當ニアルト云フナラバ、是ハ時價デ買フト云フ法律ニナッテ居リマスカラ、是ハ全部御買上ニナラナケレバナラヌ筈デアル、所ガ之ヲ全部御買上ニナッテ居ラヌト云フコトニナルト、私ハソコニ非常ナ矛盾ガアルト思フ、之ニ對シテソレナラバ其當時朝鮮米ノ季節調節ノ買上、而モ買上ノ數量ガ政府ノ有ッテ居リマスル餘力ガマダアル、

○後藤國務大臣 米穀統制法ノ趣旨トスル所ハ、今御話ノ通りデアリマス、隨テ之ヲ補強スル爲ノ一時ノ方策ハ、總テヤハリ米穀統制法ノ本旨ヲ徹底サセタイト云フコトカラ參ルノデアリマス、唯御承知ノ如ク米穀統制法ニモ季節調節ト云フモノガゴザイマス、是ハヤハリ米穀統制法ノ本旨ヲ徹底サセルト云フ趣旨モ加ハッテハ居リマスルケレドモ、其遣方ガ最低價格デ申込ニ應ジテ買フト云フノデナクシテ、季節的ノ出廻リヲ調節スルト云フ形ニナッテ居リマス爲ニ、米穀統制法ノ枠ノ中ニ於テ多少働クヤウニナッテ居リマス、臺灣米ノ移入調節ノ問題モ、趣旨ハヤハリ米穀統制法ノ精神ガ

○河野委員 ソレナラ御尋シマスガ、今年ハ去年ノ出來秋カラ米穀統制法ニ對シテ上廻ッタコトハナイト私ハ思フ、所ガ朝鮮デ御買上ニナリマシタ、先日政府カラ戴キマシタ表ヲ見マス、政府ガ買上ノ募集ヲシテ、ソレヲ全部御買上ニナラナカッタノハ、ドウ云フ意味合デアルカ、若シモ朝鮮カラ來ルモノヲ、季節調節ト雖モ、政府ガ買ハウト云フ計畫ヲ立テ、其計畫ダケノモノヲ全部買ハズニ、申込値段ガドレダケデアッテ——一時高カッタカモ知レマセヌ

政府ノ有ッテ居リマスル餘力ガマダアル、

餘力がアル際ニ餘力ハ殘シテ置ク、申込ヲ受ケタモノハ、其申込ノ時ニ全部買ッテ居ラヌト云フヤウナ、過去ノ政府ノ實績ヲ見マス、今度ノ法律ハ一體ドウ云フ意味合デアルノカ、最近價格以下デハ買ハヌコトハ分ッテ居リマスガ、ドウ云フ意味合デアルノカ、ドウシテモ茲ニ結論ガ出テ來ヌノデアリマス、如何デアリマスカ

○荷見政府委員 只今ノ御話ハ全然事務的ノ關係デアリマスカラ、私カラ御答致シマス、第一回ノ申込ヲ受ケマシタノハ、十二月デアリマシテ、其時受入レマシタ數量ガ二十五萬六千石ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ買入ノ豫定數量ト略、一致致シテ居リマス、ソレカラ第二回ノ申込ガ、十二月ノ二十日ニ買入ヲ實行致シマシタ分デ、五十萬石ノ買入豫定デアリマシテ、買入レマシタノガ四十九萬五千石ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ第三回ガ一月ノ十七日デアリマシテ、買入豫定數量ガ五十萬石、買入レマシタ分ガ五十萬石ト云フコトニナッテ居リマス、私共ノ豫定價格ト云フモノガ——是ハ自分デ申上ゲテハワカシイヤウデアリマスガ、妥當ナ價格ガ豫定サレテ居ッタ爲ニ、丁度豫定價格ノ範圍内デ申込數量ヲ全部收容出來タ、ソレデソレ以

上ノ申込ヲ致シマシタモノハ、實際ノ入札價格ハ申上ゲナイコトニナッテ居リマスカラ申上ゲマセヌガ、非常ニ價格ガ上デアリマス、吾々ノ豫定價格ヨリハ餘程見當違デゴザイマス、併シソレハ取ル必要ガナカタ譯デアル、穩當ナ所ハ好イ按排ノ所ニ落著イタ、斯ウ云フ譯デアリマス

○河野委員 申込數量ヲ戴キマセヌノデ分リマセヌガ、其當時申込數量ハ、是ヨリモ多ク買ハズニ濟ンダ、ソレヲ政府ハ此實績カラ見マシテモ今申シマスヤウニ、其時ニ餘力ガアツタカラ、引續イテ矢繼早ニ取ッテ置ケバ、内地ノ米價ニ非常ナ好結果ヲ來シテ居ルデアラウ、内地ノ農民ニ對シテモ去年ノ十二月中ニ外地米ノ季節買上ヲ矢繼早ニヤッテ置ケバ、非常ニ好結果ヲ來シテ居ルダラウ、而モ其時ノ買上價格モ伺ヒマセヌシ、發表ガ出來ナケレバ、強ヒテ伺ハウトモ思ヒマセヌガ、内地ノ所謂最低價格ヲ基準トシテ割出シタ程度ノ値段ダッタラウト思フ、ソレ以上デハ恐ラク買ッテ居ラヌト思フ、サウシマス今度ノ法律ニ依ッテ買上ゲルモノガ、今ノ政府委員ノ御話ノヤウニ、ソレヨリ上デモヤル、農林大臣モソレヨリ上デモヤク方宜イノダト云フコトデ、ソレニ依ッテ内地ノ米價ニ資スル所

アラシメルト云フ御話デアリマスガ、サウ云フコトナラバ、今迄ノハヤッテ御置キニナラナケレバ、吾々ハ諒承スルニ困難デス、唯金ヲ殖ヤス法律ヲ作ッテ置クト云フコトダケデ、實行ノ跡ヲ見マス、農民側カラ申シマスレバ、サッパリ満足スベキ結果ヲ得テ居ラヌ、既ニ季節調節ト申シマスレバ、今頃迄ニ大體オヤリニナルコトガ適當デ、又強ヒテ言ヘバ、去年ノ十二月ニヤッテ貰ヘバ、内地ノ貧農階級ハドレダケ助カッタカ分ラヌ、政府ノ買上米ノ跡ヲ見マシテモ、十二月ガ一番殺到シタ、所謂内地ノ貧農ガ賣出ス時期デアル、其時ニ朝鮮ノ米價ニ對シテモ、季節調節ヲヤッテ戴ケバ、朝鮮ノ米價ガ内地ノ方ニモ響イテ來ル、内地ニ其政策ガ直ダ反映シテ來ルト云フコトデ、内地ノ米價ニ非常ナ影響ガアツタと思フ、所ガ今御話ノヤウニ朝鮮ノ今度ノ法律ニ依ル買上價格ガ明確ニナッテ居リマセヌノデ、一體下ノ位デアルノカ、政府ノ腰ダメデアルト云フコトニナリマス、一體腰ダメト云フノハドノ位ノ程度迄ヤルノカ、即チ前ノ民政黨内閣ニ依ッテ、民政黨ノ人カラ非常ニ攻撃ヲ受ケタ所ノ米穀法、是ハ私ハ本會議デモ言ウタ、廢止ニナリマシタ米穀法ト、今度ノ法律ハ趣旨ニ於テ全然同ジデアル、

買上ハ多少ノ基準ハアルガ、腰ダメデアル、是ガ善イカ惡イカト云フコトニナルト議論ハ別デアリマスガ、一方ニ於テ最高最低ヲ決定シタモノガアッテ、ソレニ腰ダメヲ喰付ケタノデハ非常ナ不安ガ起ッテ來ル結果ニナル、買上ニ付テ成ベク勅令ニ明確ニシテ御置キニナラヌト、非常ニ一般ノ期待ニ反スルコトニナルト思フ、而モ其運用ニ當ッテハ、季節調節ハ十二月ノ内ニ徹底的ニヤラナケレバイカヌト考ヘテ居リマスガ、ソレヲ今迄餘力ヲ殘シテ、一向内地ノ米價ガ芳シイ値段ニナッテ居ラヌト云フコトデ、今ノ御說明ニ依リマス最低米價ヨリ成ベク上マスル爲ニ、此法律ヲ作ッテヤルト云フト、餘力サヘ使ヒ切ラヌ上ニ、斯ウ云フモノヲ與ヘテモ仕方ガナイト云フ結論ガ出テ來マス、其點ハ十分御注意ヲ願ヒマス

次ニ御伺シタイコトハ買上ノ場合ハサウ云フヤウニ一應諒承致シマスガ、賣渡ノ場合、詰リ「第三條ノ規定ニ依ル朝鮮米及臺灣米ノ賣渡ハ内地ノ米價ガ最低價格ヲ相當程度上廻リ居ル場合ニシテ内地ノ米價ニ惡影響ヲ及ボサザルトキニ限り之ヲ爲シ得ルコト」トアリマスガ、是デアリマス、全ク分ラヌ、最低價格ヲ相當程度上廻ルマデ朝鮮ノモノヲ買フ、相當程度迄上廻ッタ賣ル

ト云フコトニナリマス、買フノモ相當程度、賣ルノモ相當程度ト云フコトニナルト、茲ニ吾々ノ頗ル諒解ニ苦シム點ガ出テ來マスガ、ドウ云フ御解釋デスカ、承ッテ置キタイ

○荷見政府委員

此勅令ノ規定ノ趣旨ハ、大體御審議ヲ戴イテ居リマスル臨時米穀移入調節法ノ第三條ニ依ル賣渡ノ場合ニ付キマシテハ、第四條ニ「前條ノ規定ニ依ル賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム」ト云フコトニナッテ居リマシテ、價ハ時價デ賣ルト云フコトニナッテ居リマス、唯ソレハ時價ガ如何ニ低クテモ朝鮮ニハ別ニ公定價格ノ定メガナイカラ賣却スルカト云フ懸念モ生ジマセウシ、又不安ガアッテハナラヌト思フノデアリマシテ、隨テ賣渡ト云フコトハ米ノ市場供給ヲ増加致シマシテ、米價ヲ弱クスルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスカラ、其賣渡ノ時期ト云フコトガ、米價ノ調節ニハ必要デアリマスノデ、其制限ヲ置クト云フノガ只今御質問ニナリマシタ第三條ノ勅令ノ趣旨ニナリマス、ソレデ其規定ト致シマシテハ大體米價ニ惡影響ヲ及ボス、詰リ内地ノ米價ヲ最低價格ニブツ付ケルト云フヤウナ危險ガアリマス場合ハ、賣却ヲシナイト云フ趣旨ノコトヲ此

勅令ニ書キマシテ、内部ノ實行ノ標準ニモ致シ、外間ノ人ノ安心モ行クヤウニシタイト云フノガ、此規定ノ趣旨ナリト思フノデアリマス、詰リ此勅令ノ趣旨ノ要點ハ此朝鮮米ノ賣渡ニ依ッテ内地ノ公定價格ニ影響ヲ及ボスヤウナ場合ニハ、賣渡ヲセヌト云フコトノ趣旨ト御諒解ヲ願ッたら宜カラウト思ヒマス

○河野委員

趣旨ハ諒解出來ナイノデス、最低價格ヲ相當程度上廻ッたト云フ、相當程度トハ一體ドノ邊ヲ指スノカ、大體内地ノ最低價格ハ二十三元三十錢、最高ハ幾ラト決メテアッテ、最高最低デナケレバ買ヒモシナケレバ賣リモシナイ、ソレデ朝鮮ニ於テハ、政府ハ腰ダメ或ル程度ノ所デ買上賣渡ヲスル、其程度ハ相當程度ト云フコトニナルト、サッパリ意味ガ通ラナイデヤアリマセヌカ、朝鮮ノ方デ或ル程度デ買上ヲシ、或ル程度デ賣渡ヲスルト云フコトニナリ、内地ノ方ハ最高最低ガ決ッテ居ルト云フコトニナルト、内地デ買上ゲルモノハ上ニナラナケレバ、一千萬石デモ二千萬石デモ賣ラナイト決メテアッテ、朝鮮デ買ッタモノハ何ノ必要ガアッテ買ッタカ、賣ル必要ガアルカ、賣ル必要ガアルナラ内地ノモノヲ賣レバ宜イデヤナイカ

○荷見政府委員

私ノ説明ノ言葉ガ足りナカッタカモ知レマセヌガ、大體米穀統制法ノ規定ニ依リマシテ、季節調節ノ買入ヲ致スコトハ、御承知ノ通り季節的ノ出廻リ數量ヲ調節スル所ノ賣買デアリマス、其買上ニ付キマシテハ、最低價格最高價格ノ範圍内ニ於テ買入ヲ實行スルト云フコトハ、前ニ申上ゲタ通りデアリマシテ、此點ト此度ノ臨時米穀移入調節法ノ第二條ノ買入トハ、同ジク出廻リ數量ノ調節ト云フコトガアツ部分ニハナッテ居リマスカラ、同ジコトデアラウト思ヒマス、ソコデ朝鮮臺灣ニ於キマシテハ公定價格ノ規定ハナイノデアリマスカラ、標準トシテ一定價格ヲ置クノハ買入ノ分デアリマス、又賣渡ノ分ニ付キマシテハ内地ノ季節調節ノ場合ニ於キマシテモ、米穀統制法施行令ノ第十二條ノ規定ニ依リマシテ「米穀統制法第四條ノ規定ニ依リ買入レタル米穀ノ數量ニ相當スル米穀ハ當該米穀年度内ニ於テ賣渡ヲ爲スモノトス但シ農林大臣ノ指定スル銘柄及等級ニ該當スル米穀ノ農林大臣ノ指定スル市場ニ於ケル平均價格ガ標準最低價格ノ上値五分ニ相當スル價格以下ニ在ル場合ハ此限ニ在ラズ」ト云フヤウナ規定ヲ設ケテ居リマシテ、大體内地ノ季節調節ノ賣却ニ付キマシテ

モ、是ハ賣ラヌデ宜シイト云フ場合ハ、標準最低價格ノ上値五分、標準中米ノ五分以下ニ標準中米ノ値段ガアル場合ノ例外ヲ設ケテアルノデアリマシテ、其間ハ最高最低ノ價格ノ範圍内デ農林大臣ガ賣却シテモ宜シイト云フ見透シノ付キマス場合ハ、賣却シテ宜シイコトニナッテ居リマス、ソレデ此上値五分ト云フヤウナコトモ此統制法デハサウデアリマスガ、朝鮮ニハ最低標準價格ト云フモノガアリマセヌカラ、ソコデ適當ニ規定シナケレバナラヌカト思ヒマスケレドモ、只今ノ見込デハ今御説明ヲ申上ゲマシタヤウニ、其賣渡ニ依ッテ内地ノ米價ノ最低價格ニ突掛ケテシマウヤウナ危險ノ場合ニ賣ルト云フヤウナ一ツノ制限ヲ置キマシタ、斯ウ云フ風ニ何分ト決メマスカラニハ、向フニ矢張標準ノ規定價格ガナイトイケマセヌカラ、只今ノヤウニ勅令案ヲ出シテ居ル譯デアリマス

○河野委員

ソレハ全く胡麻化ノ御答辯デス、何故ナラ、若モ今ノ統制法ヲ季節調節ヲ以テ御説明ナサラウトスルナラバ、斯ウ云フ法律ヲ作ラズニ、季節調節ノ資金ヲ殖シ、季節調節ノ數量ヲ増セバ宜シイノデアリマス、所ガ今度之ヲヤル所以ハ、此前統制法ヲ作ッテ議會ノ協賛ヲナサタ時ニハ、

政府カラ出シタ數量ガ全ク認識不足デアッ
タ、寧ロ吾々ヲシテ極端ニ言ハセレバ、吾
吾議員ヲシテ、錯誤ニ陥ラシメテ、米穀統
制法ノ通過ヲ圖ツタ言ウテモ宜イ位デア
ル、何故ナラバ政府ガ去年議會ニ御提出ニ
ナリマシタ數量ハドウデアルカ、大體ノ吾
吾ノ見込ハ、將來五箇年ノ見込ハ、米ノ需
給關係ハ圓滿ニ旨ク行クト云フ數字ヲ政府
カラ御提出ニナリマシテ、今年度ノ剩米ハ
六百何十萬石、明年ハ五百萬石、其次ハ少
シ殖エテ五百八十萬石、其次モ少シ殖エテ
六百萬石デ、大體持越理想額ニナルヤウニ
將來ノ豫定ハ立ッテ居ルト云フノデ、日本ノ
米穀事情ハ過不足ナク行ッテ居リマス、豊凶
ニ依ッテ多少ノ差異ハアレ、大體ノ見透シト
シテハ斯ウ云フ状態ニナッテ居ルト云フ表
ヲ政府カラ示シテ、サウシテサウ云フコト
ニナッテ居ルガ、季節的ノ調節ヲスル必要
ガアルカラ、茲ニ季節調節ヲスルノデア
ルト云フ御説明ヲ爲サツタ、所ガ今度ノハサウ
デハナイ、米ガ剩ルカラ朝鮮臺灣ノ外地米
ノ統制ヲシナケレバイカヌ、剩ルカラ其買
上ヲシナケレバイカヌ、ソレデ七百萬石
ノ買上ヲスルト云フ今度ノ立法ノ提案ノ御
説明ナンデアル、サウスルト剩ルカラ買上
ゲルト云フ御説明ノモノト、去年ノ季節調

節ト、今度ノハ趣旨ガ違フ、趣旨ノ違フ季
節調節ノ説明デ、今度ノ法案ノ御説明ヲ爲
サラウトシテモ、ソレハ全ク胡麻化デア
ウト云フコトヲ申上ゲテモ過言デナイト思
フ、デアルカラ去年ノ季節調節デ、今度ノ
此勅令ヲ御説明ニナラウトスルノハ無理デ
アル、サウデナクシテ、今度ノハ剩ルカラ
買フノデアルト云フ提案ノ理由ノ御説明デ
アルナラバ、矢張買ッタ物ハ最高價格ニナ
ラナケレバ賣ラナイ、幾ラニナラナケレバ賣
ラナイト云フヤウナモノガナケレバナラヌ
筈デアル、詰リ内地ノ米價ガ——最低價
格買ッタ物ハ、最高價格デナケレバ賣ラナ
イト云フヤウニ御説明ニナルト同様ニ、朝
鮮ノ米ハ最低ヨリ上デ買フト云フノハ、吾
吾モ一應諒承スル、内地ノ米價ガ最低價
格困ルカラソレヨリ上ニスルト云フノハ諒
承スルガ、七百萬石買ッタモノヲ政府ノ腰
ダメデ何時賣ルカ分ラヌト云フコトニナレ
バ、内地ノ米價ハ最低價格カラドノ位ガー
體相當額カト云フコトニ付テ、取引所ノ相
場師ハ始終考ヘルカラ、米價ハ下ニ釘付ケ
ニサレテ、内地ノ農民ハ何時迄經ッテモ浮ブ
瀬ガナイ、今ノヤウナ胡麻化ノ御説明デハ
イケナイ、モットハッキリシタ答辯ヲナサイ
○荷見政府委員 是ハ決シテ胡麻化デハナ

イノデアリマスガ、説明ガ足ラナカッタコ
ト、思ヒマスカラ、今一應御説明申上ゲマ
ス、今度ノ臨時米穀移入調節法ハ、季節的
出廻調節トハ別デアリマシテ、朝鮮米、臺
灣米ノ内地移入數量ト云フモノガ從來ノ通
リ行ハレマス、年ヲ通ジテノ内地ノ供給
ガ過剩ニナルト云フ爲ニ、米價ヲ壓迫スル
コトガアッデイケナイカラ買フノデアリマ
シテ、趣旨ハ季節調節トハ違ヒマス、季節
調節ハ只今モ御質問ガアリマシタヤウニ、
是ハ大體十一月以後四五箇月ノ出廻期ダケ
ニ買ッテ、出廻期以後ニ必ズ賣却スルト云
フノデ、賣却ナシ得ル場合ハ、只今私ガ申
上ゲマシタ統制法ノ施行令ノ第十二條ノ規
定ニ依ッテ、米價ガ餘リ低イ場合ハ控ヘテ
宜シイト云フ規定ガアルノデアリマス、今
度ノ分ハ左様デナク、買入ハ前々カラモ御
説明申シテ居ル通り、今後端境期ニ至ルマ
デノ間デモ、餘計ニ供給ガ内地ニ増加スル
場合ニハ、相當數量ノ買上ヲスルト云フノ
デアリマスカラ、季節調節トハ本來ノ趣旨
ガ餘程違ヒマシテ、年ヲ通ズル調節ニナッ
テ參リマスカラ、此點ハ全ク違ヒマス、併ナ
ガラサウ云フ風ニシテ買ヒマシタ米デモ、
内地ハ最高最低ノ標準價格ガアリマスカラ、
民間ノ請求ニ依ッテ或ハ買入ヲ行ヒ、或ハ

賣渡ヲ行フト云フコトニナルノデアリマス
ガ、此朝鮮米臺灣米ヲ買マス時分ニハ、サ
ウ云フ標準ガアリマセヌカラ、結局如何ナ
ル時ニ賣ルカト云フト、最低價格ヲ賣渡シ
タ爲ニ破ルヤウナ危険ノナイ時、詰リ最低
價格ヨリ米價ガ上ニアルト云フ場合ニハ、
賣ッテ宜シイト云フコトニ致シテ置クノガ
妥當デアアル、殊ニ是ハ來年ノ三月末日迄ノ
臨時的ノ法規デアリマスカラ、買入ニ付キ
マシテハ、先ニナリマストドウ云フ風ニナ
リマスガ、其時ニ又研究シナケレバイカヌ
ト思ヒマスガ、デアリマスカラ其間最高價
格、最低價格ト云フモノヲ作ルコトモ是ハ
御承知ノ通り出來マセヌシ、最低價格ヲ脅
威スル場合ニ適用スルヨリ仕方ガナイト思
ヒマス
○河野委員 來年ノ三月迄デアルトカ、仕
方ガナイトカ云フ御答辯デハ駄目ダト私ハ
思フ、ソレナラバ何故親切ニ、來年ノ三月
迄ダカラ賣ル時期ハ書カズニ置クトカ、賣
ル時期ハ内地ノ最高價デナケレバ賣ラナイト
云フ風ニ、農民ニ親切ニ御考ニナラナイカ、
米ノ値ヲ上ゲル爲ニヤッテ居ルノダカラ、最
低價格ヲ割ラナイ中ニ、寧ロ最低價格以上
ニ買ッテヤルノダト云フ御説明ヲスレバ宜
イ、今ノ御説明デハ最低價格ヲ崩サナイト

云フ所ニ賣ッテ置クノダト云フノデ、何時デ

モ買フ時期ト賣ル時期ガ同ジヤウニナッテ居ル、ソレナラバ寧ロ初メカラ買ハヌ方ガ宜イト云フ結論ニナッテシマフ、斯ウ云フ勅令ノ書キ方ト云フモノハナイト思フ、向フデ買ッタモノヲ來年ノ三月迄ダカラ、内地ノ最低價格デ買ッタモノト同様ニ、最高價格ニナラナクレバ賣ラナイ、其間ノ調節ヲスルニハ季節調節ノ出廻調節デ其間ヲ調節シテ置クカラ、茲デ剩ッタトシテ買ッタモノデアルカラ、是ハ最高以上デナケレバ賣ラヌト云フ建前ニナッテ居ルノナラバ、諒承致シマスガ、之ヲ賣ル時期ハ政府ノ腰ダメデ、而モ二十八圓以上トカ、二十五圓以上トカ、最高最低ノ中値以上デナケレバ賣ラヌト云フノナラバマダ吾々ハ諒承致シマスガ、今御説明ノヤウニ最低價格ヲ崩サナイヤウナ所ナラ賣ッデモ宜イト云フヤウナ御説明ナラバ、ソレナラ私ガ言ッタヤウニ、何時デモ七百萬石デ最低價格ニ壓力ヲ持ッテ居テハ米ノ値ガ上ルコトガ出來ナイ、サウスルト來年ノ三月末日迄ハ、何時デモ米ノ値ハ釘付ニナッテ、五分以上ハ上ラナクナル、サウ云フ不親切ナル遣方デハ絶対ニイカスト思ヒマス、農林大臣ノ御意見ハ如何デス、私ハ意見ガ違ヘバ此問題ハ是デ止メテ置キマ

スガ……

○後藤國務大臣 今荷見政府委員ノ御答シ

タノト私ノ考ハ別ニ違ヒマセヌガ、ソレハ御分リニナッテ居ルノダラウト思ヒマスガ、私ノ言フコトハ蛇足カモ知レマセヌガ、一言附加ヘテ置キタイ、季節調節ト、今度ノ移入調節ノ臨時法トガ似テ居ル點ガアルデハナイカ、是ハ似テ居ル點ガアルノデアリマス、併ナガラ違フ點ガアルノデアリマス、季節調節ハ其年内ノ出廻ノ時期、詰リ十一月、十二月、一月、二月ト云フ頃ニナッテ、出廻期ノ殺到ヲ防イデ、後ハ年内ニズツト賣渡シテ、凡ソ一年ノ間デ賣買ノ始末ヲ付ケテシマハウト云フノデアリマス、今度ノ移入調節法ハ言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、此季節調節サレル一年ノ中デノ賣買デナクシテ、ズツト後年ニ瓦ッテ擴ゲタヤウナモノデアアル、隨テ買フ方ハ三月三十一日迄ト云フコトニ臨時法ニハナッテ居リマスガ、是デ買ッタ米ヲ賣ルト云フ方ハ、後ニ米穀特別會計デ殘ルノデアリマスカラ、大體ドウ云フ風ニ事實ナルカト申シマス、是ハ七百萬石ト云フ豫定ヲシテ居リマスガ、ソナナ米ヲ買ハズニ宜イヤウナ、幸ナ需給狀態ガ出テ來レバ別デアリマスガ、大體豫定通りニ發動シテ買フト云フ時ニハ、十一月、

十二月、一月、二月ニ買ッタ米ヲ、其年内

ニ賣ルカモ知レヌト云フ危險ヲ議論ノ上デハ御感ジニナルト云フノデセウケレドモ、ソレナラバ此移入調節法ハ要ラナイ、季節調節ト同ジコトニナル、詰リ年ヲ越エテマデ持ッテ行クコトガ出來ルヤウナ方法ヲ臨時ニ開イタノガ此臨時法デスカラ、臨時法トシテサウ云フ御懸念ハ餘リナイコトデアラウト思ヒマス

○河野委員

大臣ノ御説明ハ能ク分ッテ居

ル、私ノ聽カントスル所ハ、賣買ノ價格ハ、一體何時ニナッテサウ云フ値段ガ出タ時ニ賣ルカト云フコトヲ私ハ主トシテ聽イテ居リマス、而モソレハ來年ノ三月迄ダカラ、賣ルヤウナ時期ガナイト云フヤウナ御答辯ナラ、サウ云フコトハソレデ宜イカモ知レナイ、併シサウ云フコトニナリマスレバ、一步進ンデ農林大臣竝ニ農林當局ノ米穀政策ニ對スル根本觀念ニ疑フ有ツ、何故カナラバ、此法律ハ來年ノ三月迄ダカラ宜イト云フコトデ諒承スルカモ知レナイ、併ナガラ斯ウ云フ風ナ意味合ノコトヲ勅令ニ御書キニナル、サウスルト云フト、ドウモ農林當局ト云フモノハ、米價ト云フモノヲ一體ドノ位ニ置ケバ宜イカト云フコトノ認識ガ吾々ト根本ニ於テ違フノデナイカト思ヒマ

ス、詰リ此法律ハ宜イカモ知ラヌガ、併シ

法律ヲ書ク時ノ氣持ハ、相當ノ値段ニナッテ賣ッデモ宜イト云フコトデ、簡單ニ書イテシマフ、而モ研究シテ書イタトスレバ、尙ホ怪シカラヌ、米價ヲ成ベク上ノ方ヘ持ッテ行カナケレバイケナイト云フ吾々ノ根本觀念ト、農林當局ノ、米價ガ何デモ二十三圓三十錢ノ上ニアリサヘスレバ宜イト云フ觀念デ居ラレル、其觀念トハ非常ナ喰違ガアル、吾々ハ成ベク最低ト最高ノ真中ノ所ニ置カナケレバイカヌト云フ觀念デ考ヘテ居ル、ソレヲ農林當局ノヤウニ、賣ル時期ハ相當ノ價格ト書イテアル、而モ其相當價格ト云フモノハ、最低ヲ壓迫シナイヤウナ相當價格ト云フヤウナコトナラバ宜イガ、諄ク言フヤウデアリマスガ、七百萬石ノ米ガ、何時デモ壓迫スルヤウナ所ニアッテ、何時賣ラレルカモ知レナイト云フヤウナ所ニ置カレ、バ、非常ニ困ルト云フ懸念ヲ有ッテ居ル、是ハ獨リ此法律ダケノ問題デハナイ、常ニ農林當局ノ有ッテ居ラレル根本觀念ガサウ云フ根本觀念デ居ラル、ナラバ、非常ニ吾々ハ迷惑ヲスルト云フ所ニ問題ハ懸ッテ來ル、農林當局ノ今ノ御説明デ、季節調節ト是トハ違フト云フコトハ政府委員ノ御説明デモ分リマシタガ、明カデアレ

バ、尙更ニ農民ニ親切ニ御考ニナッテ、剩

タ米ヲ御買上ニナルノダカラ、最高價格デ

ナケレバ賣ラヌト云フ建前ニシテ戴カナケ

レバナラス、若シモ途中デ調節スル爲ト云

フナラバ、内地ノ最低價格デ買上ゲタ米ヲ

途中デ調節出來ルヤウナ方法ニシテ置カナ

ケレバナラヌト云フ結論ニナッテ來ルト私

ハ思フ、去年ノ米穀統制法デハ、途中デ調

節スルト云フノハ季節調節ヨリ外ニナイ筈

デアル、最低デ買ッタモノハ最高デナケレ

バ賣ラヌト云フ原則ガソコニアル、詰リ剩ッ

タモノハ一番高クナケレバ賣ラナイト云フ

建前ニ統制法ガナッテ居ル、所ガ今度ノソ

レヲクッ附ケタモノハ、統制法ヨリ農民ニ

取ッテ寧ロ迷惑デアル、放ッテ置イテモ最低

價格ナラバ買ハレル、放ッテ置イテモ内地ノ

原價以上デ買上ゲラレル、而モ買上ゲタモ

ノハ一番高價デナケレバ賣渡ガ出來ヌト云

フコトニナル、而モ今度ノ法律ニ依テ朝鮮

デ買ハレタモノガ、途中デ何處ノ値段デモ

賣ルコトガ出來ル、政府ノ腰ダメデ賣ルコ

トガ出來ルト云フコトガクッ附イテ、何時

デモ米價ト云フモノハ最低價格ニ釘付サレ

ルヤウナコトガ脇カラクッ附イテ來タト云

フコトニナル、而モ三月迄ダカラト云フヤ

本觀念ガ、農林大臣ノ意見ト、吾々ト違フ

ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○後藤國務大臣 根本觀念ハ格別違ハヌ積

リデアリマスガ、唯此根本觀念ヲ運用スル

時ニ統制法ハドウ云フ工合ニ出來テ居ルカ

ト云フコトハ、私ガ今説明ヲ申サナクトモ

宜シイカト思ヒマス、此臨時移入米調節

ハ、所謂臨時移入米調節デアリマス、昨年

カラノ出來秋過剰ノ米穀ヲ多數ニ生ジタ、

其事態ガ昭和九年度ヘ壓迫シテ參ッテ居ル、

此現狀ニ即シテ臨時ニ斯ウ云フ手段ヲ講ジ

テ、臺灣米ノ内地米ニ對スル壓迫ヲ防ガウ

トスルノデアリマス、サウ云フ趣旨デアリ

マス、臨時立法ト致シテモ、何モ根本觀念ヲ

彼レ此レト云フコトハ論ズル迄モナク、斯

ウ云フ方法ヲ執ッテ置イテ、相當ニ是デ效

果ヲ發揮シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス

○原委員 今ノ問題ニ付テ一寸……只今ノ

點ハ非常ニ重要ナ點ト感ジマスノデ、私モ

一寸伺ッテ見タイト思ヒマス、今河野君ノ

言ハレル如クニ、若シ此賣渡ノ價格ト云フ

モノガ政府ガ勝手ニ決メルヤウナ價格デア

ルト致シマスレバ、丁度季節調節ト同ジヤ

ウニ、市價ヲ動搖セシメ、不安定ニ置ク嫌

ガアルノデハナイカト思ヒマス、一體米穀

致シテ居ルノニ拘ラズ、ソレニ季節調節ト

云フコト自體ガ既ニ米價ノ安定ト云フコト

ニ對シテハ、矛盾致シテ居ルト云フコトハ、

私昨年モ申シマシタガ、此移入調節法ニ依ッ

テモ、矢張此季節調節ト同ジヤウニ、統制

法ニ依ッテ折角市價ノ安定ヲ圖ラウト云フ

其趣旨ニ反スルヤウナ嫌ガアルデハナイカ

ト云フコトヲ心配致シマス、只今河野君ノ

質問ノ如クニ買上ノ場合ハ宜イト致シマシ

テモ、賣渡ノ價格ガ、只今政府委員ノ御説明

ノヤウニ、最低公定米價ヲ壓迫シナイヤウ

ナ場合ニ於テ賣ルノダト云フヤウナ御説明

デアリマス、是ハ甚ダ將來不安ナ氣分ヲ

起スデハナイカト思フノデアリマス、恐ラク

政府ニ於キマシテモ、其目指ス所ハ公定米

價、即チ中間米價ヲ壓迫シナイ趣旨ニ於テ

賣渡ヲスルノデハナイカト云フ風ニ想像サ

レルノデアリマスガ、若シサウ云フヤウナ

趣旨デアリマスナラバ、ソレヲ明ニ斯ウ云

フ機會ニ於テ政府ノ意ノ在ル所ヲ御説明ニ

ナッテコソ初メテ其趣旨ガ一般ニ諒解サレ

マス

〔池田委員長代理退席、委員長著席〕

然ルニ只今ノ政府委員ノ説明ノ如クニ、最

低米價ヲ壓迫シナイヤウナ場合ニ賣ルノ

當ニ目指シテ居ル所ヲ説明致シテ居ナイノ

デアッテ、寧ロ此法律ノ效果ヲ常ニ消極的ニ

説明サレル嫌ガアルヤウニ私共ハ思フ、其

點ニ付キマシテハドウゾ斯ウ云フヤウナ機

會ニ於テ、政府ハ買上ゲタル米ハ政府ノ理

想トシテ居ル所ノ中間ノ米價ヲ壓迫シナイ

ヤウナ機會ニ於テ賣ル考デアアルノダ、斯ウ

云フ風ニ斯ウ云フ機會ニ於テ御説明ニナッ

テ置クト云フコトガ、此米價對策ニ付テ非

常ニ效果的デハナイカト私共ハ感ジマス、

ドウゾ其趣旨ニ於キマシテ勅令ニ於テサウ

云フヤウニ定メルカ、或ハ勅令ニ於テサウ

云フヤウニ定メルコトガ出來ナイトスレ

バ、此議會ヲ通ジテ移入調節法ニ於テ買上

ゲタ米ハ、政府ノ理想トスル所ノ中間米價

ヲ壓迫スルヤウナ賣方ハシナイノダ、斯ウ

云フ風ニ御説明ニナッタ方ガ效果的デハナ

イカト思ヒマスガ、之ニ對スル農林大臣ノ

御所見ヲ御伺致シマス

○後藤國務大臣 御註文通りニ中間米價ヲ

壓迫セヌヤウニ賣ルノダト云フ、御答ヲス

ルコトハ一寸致シ兼ねマスガ、併シ最低價

格ヲモ壓迫スルヤウナ値段デアッテハイカ

ス、斯ウ云フコトガ勅令デ規定サレルノデ

アリマス、政府ノ趣旨トスル所ハ、モウソ

レ以上ナラ何時デモ賣ルト云フノデヤ無論

統制法ニ依ッテ折角米價ノ安定ヲ圖ラウト

ダ、斯ウ云フコトニナリマス、政府ノ本

レ以上ナラ何時デモ賣ルト云フノデヤ無論

ナイノデアリマス、米穀ノ市場ヲ考ヘテ見テ、米價ニ惡影響ノ無イト云フコトガ主眼デアリマスガ、更ニ政府ノ遣方ヲ束縛シテ、最低米價ヲ壓迫スルヤウナ場合ハ、賣ッデハナラスト云フ最低ノ底ヲ入レテ置クト云フ趣旨ニ御諒解ヲ願ヒタイ

○高橋委員 今ノ質問ニ關聯シテ……段々伺ヘバ伺フ程政府ノ觀念ト、吾々ノ觀念ト非常ニ距離ガ遠クナッデ來ルノデアリマス、一體政府ハ最高價格ヲ米穀統制法デ定メタ趣旨ト云フモノハ、ソレマデハ米價ヲ吊上ゲテ宜シイ、米價ハ今日デハ非常ニ安イカラ、是デハ農民ガ助カラヌカラ、相當價格マデ之ヲ引上ゲル、相當價格ト云フノハ、最高價格マデヲ意味スルノダラウト思フ、ソレデ大體ノ觀念デ言ヘバ中値ハドンナコトヲシテモ維持シナケレバナラスト云フコトニ、吾々ハ解釋シテ其法律ニ贊成モ致シテ居ル、其理想ニ達シナイカラ色々ナ強化的手段方法ヲ講ジナケレバナラス、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ拘ラズ朝鮮米ヲ今度買上ゲテ、米穀統制法ノ缺陷ヲ補ッテ行カウ、斯ウ云フ場合ニ何ガ故ニ米穀統制ト同ジ意味ニ於テ、最高價格デナケレバ賣ラナイト云フコトノ出來ヌ理由ハ何處ニ在ルデセウカ、ソレヲ一ツ承ッデ置キタイ

○荷見政府委員 最高價格デナケレバ賣ルコトハ出來ヌト云フノハ、是ハ價格ノ調節ノ問題デアリマス、今御審議ヲ願ッテ居リマス 臨時米穀移入調節法ハ、是ハ數量ヲ調節シヨウト云フノデアリマシテ、最高最低價格ハ是ハ統制法ノ力デ内地ノ米價ニ付テハ維持シヨウト云フコトヲ努力致シテ居ル、併シ其努力ニモ拘ラズ、又供給量ガ非常ニ多クナリマススト云フト、米價ハドウシテモ如何ニ努力シテモ最低價格ノ方ニ押付ケラレル氣味ニナルノデアリマスカラ、ソコデ以テ米穀ノ供給數量ヲ調節スル爲ニ、一定ノ數量ト云フモノハ之ヲ政府ガ市場カラ買上ゲテシマッデ、縛ルコトヲシナケレバイケマイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノガ、此移入調節法ノ趣旨デモアリ、又現在行ッテ居リマス所謂季節調節ノ買入ノ精神デモアルノデアリマス、是ハ全ク數量調節デアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、隨テ數量調節ニ付テノ季節の出廻リ前ノ買入ニ付キマシテハ、既ニ米穀統制法ニ於テモ最高價格ト云フノデヤナクテ、最低最高ノ範圍内デアレバ何時デモ賣ッデ宜シイト云フコトハ、昨年カラ能ク御説明申上ゲテ居ル譯デアリマス、ソレデ此季節出廻リ數量ニ付テ、只今河野委員ノ御質問

ニ對シテ私ガ御答申上ゲマシタヤウニ、公定價格ヨリ五分以上ニ相當スル價格以下ニアル場合ニハ米價ヲ壓迫シテ、又最低價格ニ突掛ケルヤウナ危險ガアリマスカラ、是ハ賣ラナイデモ宜シイト云フ規定ガ加ッダケデアリマス、今度ノ臨時移入調節法モ、是モ數量調節ノ點ニ於テハ、季節調節ト同様ナノデアリマスノデ、實ハ最高最低ノ範圍内ナラバ數量ニ差支ガナイ場合、賣ッデモ宜シイ譯デアラウト思フノデアリマスカラ、併シサウ云フ風ニ致シマシテハ、曩ニモ申上ゲマシタヤウニ不安ガ伴フ譯デアリマスカラ、此賣却ハ最高最低ノ範圍内デアッテモ、最低價格ニ米價ヲ近付ケルヤウナ惡影響ノアル場合ニハ賣ラス、詰リ米價ハ相當程度最低價格ヲ上廻ッテ場合デナケレバ、賣却シテハイケナイト云フ勅令ヲ書カウト云フ趣旨ナノデアリマス、是ハ年ヲ互ッテ調節ト、年内ノ調節デ其點ハ違ヒマスカラ、數量調節ニ於テハ、季節調節ト趣旨ヲ同ジクシ、ソレカラ賣却ノ問題ニ付テモ略シ、其經路ヲ同ジクシタ書キ方ニナルト思ハレルノデアリマス

○高橋委員 其立法ノ技術ナント云フモノヲ私共ハ穿鑿シテ居ルノデヤナイ、米價ヲ維持シヨウ、之ヲ向上シヨウト云フコトガ趣旨デ此法律ヲ作ッテ居ルノデアリマス、内地ノ季節調節トハ違フト云フ建前デヤッタノダト云フ以上ハ、米價ヲ維持スルト云フノガ根本ノ問題デ、ソレハ立法ノ上ニ於テ數量ヲ調節スルノダト云フ立法ヲヤッタダケデアッデ、價格ヲ調節スルト云フコトガ、根本ノ趣旨デアアル、其必要ニ基イテ七百萬石ノ米ナドハ内地ニ運ンデ來ナイデモ宜イ、内地デ販賣シナイデモ宜イ、ソコニ此法律ヲ作ル必要ガ起ッタ、ソレデ臨時ト云フモノハ、又ソコニ意味ガアル、臨時ナンデアルカラ、來年モ再來年モ、段々次ノ年度ニ此法律ヲ此儘行フコトガ必要デナイトスル以上ハ、今年限りデ行カウト云フ、昭和九年米穀年度限りデ此法律ハ廢棄サレト云フコトデアルナラバ、其年度限りノ經濟ニ於テ米穀市場サヘ調整シテ行ケバソレデ宜シイト思フ、ソレヲ七百萬石ト云フ大量ノ米ヲ買上ゲテ、ソレヲ内地米價ヲ壓迫シナイデ、之ヲ運用シテ行クナドト云フコトハ到底出來得ナイコトダラウト思フ、ソレデスカラ此最低價格以上ニ上廻ッテ居レバ、何時デモ賣レルト云フヤウナ趣旨デアルナラバ、矢張河野君ノ言ハレル通り、内地ノ商人ナドハソレガ爲ニ非常ナ不安ヲ感ジテ居ル、米價ノ將來ハドウナルカト云フコトニ付テ

ハ、隨分非難ノ態度ニ出ルダラウト思フ、是デハ内地ノ米價ハ上廻ルト云フ機會ガナクナッテシマフ、斯ウ吾々ハ考ヘル、ソレデスカラ唯數量ノ調節ト云フコトデヤッタノデアルカラ、内地ノ季節調節ノ買上ト同ジヤウナ筆法で行カナケレバナラス、サウ云フ立法ダト云フコトダケデハ、私共ノ考トビッチリ合ッテ來ナイト思フノデアリマス、要スルニ一體農林省デハ先程河野君ガ言ハレタ如クニ、最低價格ヲ維持サヘ出來レバ是デ宜シイノダ、最低價格ガ吾々ノ言ッテ居ル最高價格ト云フヤウナ觀念デ言ッテ居ルノデヤナイカ、其點ニ付テモウ一應農林大臣カラ御説明ヲ願ヒタイ

○後藤國務大臣 一寸少シク御答シ惡イノデスガ、農林省デハ——農林省モ議會モゴザイマセヌ、統制法ハ最低價格ト最高價格ト云フコトヲ決メマシテ、サウシテ最低價格ヲ維持スルト云フ方法ガチャント設ケテアルノデアリマス、農林省ト申シマスルカ、政府ト申シマスルカ、此統制法ノ精神ヲ著實ニ今實行致シテ居ルノデアリマス、統制法ト云フモノヲ離レテ米ノ値段ヲドレ位ニシタラ宜イカ、統制法ノヤウニ最高、最低ヲ維持スルト云フノデハイカヌ、モット何カ米價ト云フモノヲ別ニ考ヘルノダト云フコ

トニナリマス、是ハ又一ツノ議論デアリマス、決シテ政府ガ本旨トスル所ハ最低價格ト云フ値段ガ最高價格デ、アレガモウ米價ノ理想値段ダト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌケレドモ、今日實行シ得ル、具體的ニ米價ノ安定ヲ圖リ得ルモノトシテ、先ヅ今日マデ考究致シタ——是ハ政府バカリデハアリマセヌ、議會ト共ニ考究致シマシテ到達シタ、結論トシテ得タル方策ガ今ノ統制法ト相成ッテ居ルノデアリマス、統制法ハ最低價格ト云フモノヲ立テマシテ、是ハ是非維持シヨウト云フ考デ立向ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ昨年ノヤウナ大豐作ノ實情ニ當面シマス、動モスルト實際ノ市場米價ハ、最低價格デ何處マデモ政府ハ買フト言ッテ七百萬石モ、八百萬石モ九百萬石モ買フニ拘ラズ、ドウカスルト下廻ラウトスル傾キガアル、其原因ノ一ツヲ釋ネマスト、移入米ガ非常ニ殺到シテ來テ、下ノ方ヘ押シテ引上ガルト云フ傾キガアル、ソコデ移入米ノ調節ト云フコトヲ此臨時法トシテ行ッテ、是ハ數量ノ調節ヲ行ッテ、此際ノサウ云フ事柄ヲ防イデ、出來得ルナラバ米價ヲ最低價格以上ニ上廻ラセヨウト云フ考デ吾々ハ居ルノデアリマス、根本方針ガ間違ッテ居ルノデ、斯ウ云フ案ヲ樹

テルト云フノデモ何デモナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○高橋委員 只今ノ御説明ハ矢張依然トシテ吾々ノ觀念トビッチリ合ハナイ、ト云フノハ米價ヲ最低基準カラ上廻ラセヨウト云フコトヲ努力シヨウト云フ考ガ當局ニナイト思フ、ソレデアルカラ常ニ下廻ルト云フヤウナ傾キニナッテ行クノダト私共ハ考ヘル、ソレニ付テハ昨日豫算總會ノ方デモ問題ニナリマシタガ、朝鮮ノ粟ノ關稅ノ問題デアリマス、朝鮮ノ粟ノ關稅ヲ引下ゲル、即チ朝鮮ニ於ケル粟ノ輸入ト云フヤウナモノハ、輸入ガ多ケレバソレダケ粟ヲ消費シテ、隨テ米ノ消費量ガ減ズル、即チ朝鮮ニ於ケル消費餘リノ米ト云フモノガ内地ニ入ッテ來ル、斯ウ云フ結果ニナル、今マデノ粟ノ輸入數量ト、ソレカラ移出米ノ數量トハ常ニ正比例ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトハ當局モ御認メアルダラウト思フ、ソレデ粟ノ關稅ヲ上ゲルトカ上ゲルトカ云フコトハ、是モ朝鮮ニ於ケル所ノ粟ノ輸入量ニハ至大ノ關係ガアル、關稅ガ下レバソレダケ粟ノ輸入量ガ殖エルト云フコトハ當然デアリ、又ソレガ事實デアル、サウスト云フト、豫算編成期ニ於テ朝鮮總督府ニ於テ粟ノ關稅ヲ下ゲル方針デアル、或

ハ此儘維持スル方針デアル、或ハ年度變リヨリ之ヲ上ゲル方針デアルト云フヤウナコトハ、内地ノ移入米ニ對スル方針ニハ至大ノ影響ガアルベキ筈デアル、是等ニ付テ農林大臣ハ拓務大臣等ト色々協議サルベキ筈ダラウト思フノデアリマスガ、サウ云フコトガアツカドウカト云フコトヲ、此場合承ッテ吾々ノ資料ニ供シタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 粟ノ關稅ノコト等ニ付キマシテハ、常ニ協議ヲ致シテ居リマシテ、本年ノ如キ米ノ作柄ニ於テハ、粟ノ關稅ノ引下ト云フヤウナコトハシテ戴キタクナイト思ッテ居ッタノデアリマスガ、只今サウ云フヤウナ方針ニ決ッテ居ル譯デアリマス

○高橋委員 下ゲテ貰ヒタクナイ方針ダト言ハレタノデスガ、豫算編成期ノ當時ニ於テ下ゲル方針ダト云フコトニ決マッテ、農林大臣ハソレデハ困ルト言ハレナカッタカドウカ

○後藤國務大臣 豫算編成ノ時ニハ別ニ下ゲル方針ト云フコトハ承知致シテ居リマセヌ、唯豫算ノ編成ハ、勅令ガ三月三十一日マデトナッテ居リマスカラ、ソレデ其先ノコトハ勅令ヲ唯延期スルト云フコトヲ決メタ後デナケレバ、見積ル時ニ工合ガ惡イカラ、サウ云フ工合ニ見積ル慣例デ見積、タニ

過ギナイト私ハ考ヘテ居ル

○高橋委員 見積ツタニ過ギナイト言ハレ
マスケレドモ、今度ノ豫算ノ説明ヲ見テ見
マシテモ、今度ハ下ゲナイ方針ニシタ、粟
關稅ノ稅率引下ヲ見合ス見込ダカラシテ、
輸入稅ニ於テ是ガ二十三萬七千圓ハ増加ス
ル、斯ウ云フヤウナコトデスカラ、是ハ新
シク斯ウ云フ方針ニ變タシタト思フノデ
ス、ソレデ私共ハ何故サウ云フコトヲ考ヘ
ルカト云フト、朝鮮ノ方面ニ於テハ、同僚
カラモ質問ノ場合ニ色々説明ガアッタヤウ
デアリマスガ、朝鮮總督府ハ朝鮮内ニ於ケ
ル所ノ米ノ消費量ト云フモノヲ成ベク少ク
致シテ、サウシテ餘剩米ト云フモノヲ内地
ニ移出スルト云フコトヲ、獎勵方針ノ一ツ
ニ掲ゲテ之ヲ宣傳シテ居ル、ソレデアリマ
スカラ、其米ノ消費量ヲ減ズル爲ニ、粟ヲ
成ベク多量ニ輸入シテ此目的ニ副フベク努
メテ居ル、其一端ガ粟ノ關稅ノ引下ニナ
タノデアラウト思フ、サウシテ内地ニ於テ
米ノ問題ガヤカマシクナリ、外地米ガ問題
ニ上ツテ居ルカラシテ、粟ノ關稅ナドヲ引下
ゲルト非常ニ大キナ問題ニナルト云フノ
デ、俄ニ慌テ、引下ゲナイコトニ方針ヲ變
ヘタノダラウト私共ハ考ヘルノデアリマ
ス、其問題ハ昨日拓務大臣ノ答辯ヲ聽イデ

居ツタノデスカ、一向要領ヲ得ナイ、豫算委
員會ニ於ケル所ノ粟ノ關稅ノ問題ハ、其處
ニ重點ガアルノダラウト思フ、關稅ヲ引下
ゲルト云フコトハ、外地ノ移入量ヲ増加ス
ル目的ニ出タト、ソレニ違ヒナイト吾々ハ
考ヘテ居ル、ソレガ今日關稅ヲ引上ゲテ、
サウシテ其攻撃ヲ免レヨウト努メラレタ
ト、斯ウ云フコトデヤナイカ、私ハ其ヤッ
コトヲ言フノデヤナイ、其事實ヲ言フノデ
ヤナイ、唯其精神ガ如何ニモ此内地ノ農民
ノ窮迫シタル狀態ヲ認識シテ居ラレナイ、
唯御座ナリニ、世間デ騒グカラ宜イ加減ニ
蓋ラシテ置カウト云フ位ノ程度デヤナイカ
ト考ヘラレル、今ノ粟ノ關稅ノ問題ニ於ケ
ル經緯ト、ソレカラ米穀統制法ノ施行サレ
ル前後ニ於ケル怠慢ナ態度ト、而シテ今日
ノ朝鮮米臺灣米ニ於ケル統制ノ方針ニ對シ
テ頗ル不徹底ナ所ト、此三拍子揃テ居ル
ト私共考ヘル、ソレデ政府ハ吾々ノ考ヘテ
居ルヤウニ、米價ト云フモノヲ農民ノ經濟
ニ適應スルヤウニ、之ヲ調節シテ行カウト
云フヤウナ考ハ持ッテ居ラレナイノデ、唯法
律ノ末節ニ拘泥シテ、此米價ノ最低價格サ
ヘ維持スレバ是デ十分デアルノダト、其處
ニ目標ヲ置イテ運用ヲサレ、又色々立法
ナドニ出ラレテ居ルカラ、ドウシテモ其處

ニ吾々ノ理想トハ遠ザカッテ、常ニ最低價格
ヲモ下廻ルヤウナ情勢ニナッテ居ルノデハ
ナイカト、斯ウ考ヘルノデス、時間モ移ッ
テ居リマスカラ、私ノ質問ヲ簡單ニスル爲ニ
——私共考ヘテ居ル、今日米穀統制法ヲ如
何ニ強化シテ色々ナ工作ヲ行ヒマシテモ、
農民ノ窮迫ト云フモノハ救済スルコトガ出
來ナイ今日ノ狀態ニナリ、節減レナンデア
ル、六日ノ菖蒲、十日ノ菊ニナッテ居ル、出
廻期ヲ除ケテ中農以下ノ、悉クノ農民ノ米
ト云フモノガ政府ノ買上ニナリ、或ハ商人
ノ手許ニ入ッテ居ル、是カラ色々ナ工作ヲ爲
サッテ、幾分デモ米ヲ高クシヨウト云フヤウ
ナコトヲ考ヘラレル時ニ於テ、農民ノ大半
ノ懷ロ合ニ關係ノナイコトニナッテシマフ
ト云フコトハ、私共ハ返スルモ殘念デ堪
ラナイ、政府デモ御心配ニナルガ、吾々モ
寢食ヲ忘レテ是等ノ問題ニ過去一年有半ニ
互ッテ心配シテ居ッテ、段々季節ヲ遅レテ、
今度ハ幾分ナリ統制法ガ強化サレテ、是デ
以テ米モ稍安定ヲスルト云フヤウナ時期ニ
達シタ時分ニハ、吾々ノ倉ニハ米ハ一粒モ
ナイト云フヤウナコトニナッテシマッテ、反
對ニ米ヲ買ッテ食ハナケレバナラスト云フコ
トニナレバ、米ヲ政府ニ買上ゲテ貰ッテモ、
十二月買上ゲテ貰ッタモノハ、マダ現金ニ化

サナイト云フ所モアルカニ吾々ハ聞イテ居
ル、地方ニ於ケル所ノ取扱ハ相當ニ迅速ニ
行ツタケレドモ、横濱ト東京ノ取扱ハ緩漫
デ、十二月トハ間違ダト思ヒマスケレド
モ、一月アタリハマダ受領書ト言ヒマス
カ、受付ノ證券モ貰ッテ居ナイト云フヤウ
ナコトデ、現金化サレナイト云フヤウナ苦
情ガ頻々ト國許カラ到著スルノデス、ソレ
カラ寒蠶、即チ繭ノ前渡金トデモ言ヒマス
カ、養蠶資金ノ一部ヲ冬ノ中ニ借入レルト
云フヤウナ方法ガ從來行ハレテ居ル、ソレ
ガ現今ノヤウナ不況デアリ、又不安ナル狀
況ニアルノデアリマスルカラ、製絲家ハ一
齊ニ前貸シヲシナイト云フ方針ヲ採ッテ居
ル、サウ云フコトノ爲ニ金融難ニ陥ッテ、米
ヲ賣リ過ギテ居ルト云フヤウナ狀態ニナ
ア居ル、サウ云フコトデアリマスルカラ、
隨分是ハ地方ニ於テハ困難ナ色々ナ複雑シ
タ事情ニアルノデス、ソレヲ宜イ加減ナ場
當リノ、此場限りノ昭和八年度ノ米ヲ、ド
ウスルカト云ツタヤウナコトニノミ根據ヲ
置イタ米穀統制法ノ強化工作ト云フモノ
ガ、私共ハ一面カラ考ヘルト云フト、農村
對策ニナルノカナラナイノカト云フヤウナ
不安サヘ考ヘラレルノデス、況ヤ昭和九年
度ノ產米ノ經濟ト云フモノニ、少シモ影響

ノナイヤウナ玆ニ色々ナ工作ヲスルト云フコトハ、私共ハ是ハ餘程考ヘ物デハナイカ

ト云フ考サヘ持ッテ居ルノデス、サウ云フヤウナ自分達ノ考ヲ前提ト致シテ、前段ニ

御伺申上ゲタヤウナ工合ニ、政府ト云フモ

ノハ一體此米穀統制法ヲ通ジテドウ云フ精

神デ以テ、所謂ドウ云フ指導精神ヲ以テ

臨マレテ居ルカト云フコトニ付テ、多大

ノ疑問ヲ持ッテ居ルノノデス、ソレガ爲ニ

色々諄々シイコトヲ伺ッタノデアリマス、

ソレデアリマスルカラ、此場合何カ私今取

留ナイヤウニ色々廣汎ニ互ッタコトヲ申上

ゲマシタガ、ソレニ對シテ御意見ヲ承レ

バ結構デスガ、若シ何ナラ午後カラ又承ッ

モ宜シイト思フ

○後藤國務大臣 今高橋君カラ御話ノアリ

マシタ點ハ能ク拜承シマシタガ、エラク吾

吾ト考ヘ方ヲ異ニシテ居ルトハチットモ思

ヒマセヌ、米穀統制法ヲ運用致シマス上ニ

モ、米價ガ安定スルト云フコトガ、米穀統

制法ノ實行手段ニナッテ居リマスガ、其趣

旨トスル所ハ米價ト云フモノガ相當ニ保タ

レテ、農村ノ爲ニ是ガ經濟的ニ好イ影響ノ

アルヤウニシタイ、斯ウ云フ精神デ運用シ

テ參ッテ居ル次第デアリマス

○胎中委員長 午後一時半ヨリ再開スルコ

トニシテ、此場合休憩ヲ致シマス

午後零時二十分休憩

午後一時四十分開議

○胎中委員長 是ヨリ休憩前ニ引續キ開會

致シマス、此際政府當局ニ今一應御尋ヲ致

シテ置キマスルガ、外地ニ於テ米ヲ買上ゲ

ル場合ニ、其買上ハ一定ノ買上値段ヲ決メ

テ、其範圍内デ買上ゲルト云フコトデアリ

マスルガ、其一定ノ値段ト云フ基準及ビ之

ニ關スル詳細ナル點ヲ、今一應御説明ヲ願

ヒタイト思ヒマス、

○荷見政府委員 今度ノ臨時米穀移入調節

法ノ第二條ノ一定價格ト云フ意味ニ付テ、

モウ一應御説明申上ゲマス、是ハ勅令案ニ

モ書キマシタヤウニ、内地米トノ格差竝ニ

運賃諸掛リヲ見マシテ、一定ノ價格ヲ決メ

マシテ、ソレ以上ニ朝鮮米ノ時價ガアリマ

シタ場合ニハ買入ヲシナイト申シマスノ

ハ、餘リニ高イ値段ヲ以テ買入ヲスルト云

フコトハ適當デアリマセヌカラ、一定ノ標

準ヲ決メヨウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、

ソレデ第一ニ考ヘラレマスルコトハ、ソレ

ナラバドウ云フ場合ニ買入ヲ行フノデアル

カト云フト、二ツノ場合ガアリ得ルト思ヒ

マス、第一ハ内地ノ米價ガ最低價格程度ニ

止マッテ居ル場合デアリマシテ、是ハ政府

ガ最低價格ノ申込ニ應ジテ買入ヲ行ッテ居ッ

テモ、最低價格附近ニ止マッテ居ルト云フ

場合ハ、餘程供給ガ多イ時デアリマスカ

ラ、隨テ朝鮮又ハ臺灣カラ來ル米ヲ出來ル

ダケ買上ヲシマシテ、數量ヲ調節スル、ソ

レニ依ッテ間接ニ價格ヲ維持シナケレバナ

ラヌト云フ點デアリマス、内地米ガサウ云

フ事情デアリマス場合ニハ——一番分り易

イノハ、内地米ノ最低價格カラ格差、運賃

諸掛リト云フモノヲ控除致シタモノヲ以テ

標準ニシテ、其程度デ買フト云フコトガ一

番ハッキリ申上ゲラレル點デアリマス

ソレカラ最低價格ガ幾分上ニアル、併ナ

ガラ朝鮮米ガ内地ニ移入サレマスレバ、是

ガ爲ニ最低價格ヲ脅威スルト云フヤウナ場

合ハドウデアルカ、其認定ハ中々困難デア

リマスケレドモ、サウ云フ風ナ場合ニハ、

矢張り買入ヲシナケレバイケナイト思ヒマ

ス、其場合ニハ内地米ノ時價ト、ソレカラ

運賃諸掛リヲ引イタモノデ朝鮮米ナリ、臺

灣米ナリヲ買入レルト云フコトニシナケレ

バナラヌト思ヒマス、唯其範圍ヲドノ程度

ニスルカト云フコトガ問題デアリマシテ、

只今デハ季節調節ノ買入ハ賣渡ノ場合ニハ

五分以上上値ニアル場合ニハ賣ッテ宜イト

云フヤウナ標準ニナッテ居リマスガ、是ハ

賣渡ノ場合デアリマシテ、買入ノ場合ニハ

標準ガナイ、ソレデ其程度ハ餘程困難デア

リマス、何カ標準ハ決メナケレバナラヌト

思ヒマスガ、マダ確定シテ居リマセヌ、ソ

レデ標準價格ヨリ何割上トカ、何分上トカ

云フヤウナコトヲ決メナケレバイケナイト

思ッテ居リマスガ、其程度ハ十分研究致シ

タイト思ッテ居リマス

○東委員 私ハソコニ疑問ガアルノデアリ

マス、第二條ノ項目ト云フモノハドウモ移

入シナイコトニナル規定ノヤウニ思ハレ

ル、買入レルコトヲシナイ規定ニナルノデ

ハナイカ、前條ノ規定ニ依リ買入ル、米穀

ノ價格ハ勅令ノ定ムル一定價格以内ニ於テ

時價ニ準據シテ之ヲ定ムルト云フコトニナ

レバ、此法文ハ寧ろ調節ヲシナイト云フ反

對ノ意味ニ吾々ハ解釋ガ出來ル、是ハ今荷

見君ノ御説明ガアツタケレドモ、ドウモ其

説明デハ私共承認スルコトガ出來ナイノデ

アル、ソレハドウカト云フト最低價格ノ場

合ハ、最低價格ノ内地ノ公定米價、即チ最

低價格ニ落込ムヤウナ場合ニハ、是ハアナ

タノ説明ノヤウナ風ニ格差、運賃、諸掛ヲ

入レテ、サウシテ朝鮮カラ米ヲ買取ルコト

ハ出來ルト思ヒマス、是ガ反對ノ場合ニ價

格が最低價格以上ニ廻つた時分ニハ、一定ノ價格ト云フモノヲ定メテ、サウシテ其一定ノ價格以內ニ運賃、諸掛、格差ト云フモノヲ入レテ一定價格ヲ決メルト云フ、ソレハ非常ニ高イモノニ決メレバ行ケマスケレドモ、生産費ヲ見テ、經濟上斟酌スルト云フ一定價格デアラナラバ、サウ無暗ナ最低價格以上ニ上走ッタモノヲ豫想スルコトハ出來ナイ、サウ云フ時ニハ政府ガ買ハウト思ッ

テモ、誰モ賣ルモノガナイ、ソレデアルカラ自由取引何處カラデモ日本ヘドン／＼來テ賣ッタ方が、三十錢デモ五十錢デモ利益ニナルト云フコトダカラシテ、結局移入ヲ獎勵スルト云フコトニナッテ、政府ガ金ヲ準備シテモ買フコトガ出來ナイト云フ案ニナルト思フノデス、ソレハドウモ非常ニア

ナタノ今ノ説明ト、吾々ノ説明トハ見解ガ違フト思フ、ソコヲモウ少シ何モ是ハ理窟デハナイ、實際ノ問題ヲ考究シタイト思フノデスガ、ドウモサウ云フ風ニナリ得ルト思フノデスガ、其點ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナルカ、今ノ説明デハドウシテモ私ノ言フヤウナ風ニナルノガ當然ダト、斯ウ云フ風ニ思フ、極ク安イ暴落スルヤウナ時分ニハ相當ニ取レルケレドモ、少シデモ價格ガ上／＼テ來ルト云フコトニナレバ、政

府ニ賣込ムモノハ無クナル、斯ウ云フコトニナルカラ、實際金ヲ用意シテモ買ヘナイト云フ風ニ結論ガナルト思フ、斯ウ云フ風ニ思ッテ居ル

○荷見政府委員 今ノ一定價格ト云フモノハドノ程度ニ決マルカ、詰リ標準最低價格カラ五分上ニ決マルカ、一割上ニ決マルカト云フノガ問題ノ要點ニナルト思ヒマス、ソコノ點ハ能ク研究致シタイト思ッテ居リマスガ、是ハ必シモ最低價格カラ運賃諸掛リヲ引イタモノノミデ決メルノデハナクテ、ソレヨリ上ニ決メル場合ガアリ得ル、其場合ニ付テハ更ニドノ程度ガ適當トスルカト云フコトヲ研究致シテ見タイ、斯ウ思ッテ居リマス

○東委員 私ハドウシテモサウ思フノデスガ、總督府ナドノ人ノ話ヲ聞クト、非常ニ此項目ガアルコトヲ喜ンデ居ル、此項目ガアルト云フト政府ニ幾ラデモ米ヲ賣込シテ來ル、サウシテ政府ハドン／＼買ハナケレバナラスト云フ結果ニナッテ、是ハ反對ノ結果デ獎勵ニナッテ來ル、安イ時ニハ幾ラデモ政府ガ買フシ、高イ時ニハ政府ガ賣ラナイデ、サウシテ外カラ勝手ニ自由ニ移入シテ來ルカラ、總督府ノ方カラ言ヘバ、獎勵ノ結果ニナッテ、是レアルガ爲ニ非常ニ

外地米ヲ移入スル結果ニナルト云フコトヲ非公式ニ言フ人ガアル、ダカラ其點ヲ何トカシナケレバナラスト、私ナドハ眞實サウ思ッテ居ル、此案ヲ成立サセル上ニ於テモ左様ニ考ヘテ居ルノデスガ、一寸今ノ點ヲモウ少シハッキリシタイト思フガ、尙ホ今ノ荷見部長ノ説明ハ、其最低價格ノ五分ト云フノヲ或ハ一割ニスルトカ、二割ニスルトカ云フコトハ相當考ヘル餘地ガアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ドウモ結論トシテハサウ云フ風ニナリ易イト思フ、又實際是レナラバサウナリ得ルト思フノデス

○荷見政府委員 只今ノ一寸補充シテ申上ゲテ置キマスガ、大體此規定ハ時價ニ準據シテ買入價格ヲ決メルト云フノガ規定デゴザイマスカラ、朝鮮ニ於キマシテ、或ハ臺灣ニ於キマシテ賣買セラル、其時ノ値ト云フモノヲ、目標ニシテ決メルコトハ當然デアリマス、ソレヨリ高ク買フ意味デハアリマセヌ、唯其時價ガ内地ノ米價ニ較ベテドレ位ノ地位ニアルカ、内地ノ米價ノ最低基準程度デアレバ是ハ勿論買フベキモノデアリマスガ、ソレヨリ何割位上ッタ場合ニ買フカト云フノガ問題デアリマシテ、ソレ以上上ッテ居ル場合ニハ買入ヲセヌト、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○河野委員 午前中ノ質問ニ引續イテ質問致シマスガ、其後各委員ト政府委員トノ質問應答ニ依リマシテ、私ニ御答辯ニナリマシタコト、非常ニ矛盾シタコトヲ御答辯ニナリ、全ク趣旨ガ混同シテシマッテ、政府ノ答辯ハ減茶々々ニナッテ、シマッタ思フ、尙ホ午前中ニ私ガ御尋シタノヲ更ニハッキリスル爲ニ御答辯ヲ要求シマスガ、今度ノ此案ハ季節調節トハ違ッテ、別ニ數量的調節ヲスル必要ガアルカラ、此案ヲ御出シニナッタト吾々了解シテ居ルノデスガ、其通り便宜シイノデスカ、農林大臣如何デスカ、剩ルモノヲ季節的ニ調節シテ、一年內ニ月別移入ヲ統制スル爲ニ買上ヲスルンダ、ソレハ其年內ニ内地ノ最低價格ヲ五分上廻ッタ程度ニナレバ賣ルンダ、斯ウ云フ

風ニ今迄ノ統制法ハナッテ居ル、所ガソレヲ今度ノ法律ハソレデハイカヌ、米ガ剩ルカラ、外地米ノ剩ル數量ヲ季節調節ノ意味トハ別ニ、全然別個ニ是デ買フンダ、サウシテ内地ノ米價ノ下ルコトヲ抑ヘルンダト云フ建前デ今度ノ案ヲ御出シニナッタ、數量調節ノ意味デ御出シニナッタ、斯ウ解釋シテ居ルノデアリマスガ、其通り便宜シウゴザイマスカ

○後藤國務大臣 季節調節モ數量調節デア

リマスガ、季節調節ハ御話ノ通り一年内ニ調節シテシマフ、今度ノ買上ハ一年内デナク、年ヲ渡ッテ延バシテ數量調節ヲショウ、斯ウ云フ趣旨ナノデアリマス

○河野委員 詰リ今年ノ米穀年度ト、昭和十年ナラ十年度ノ米穀年度ト大體需給推算ヲ御立デニナッテ、今年五百萬石剩ルト云フ數字ガ出テ來ル、其剩ルモノヲ内地ニ於テ年ヲ越シテ調節スルト云フコトニナレバ、此米穀年度内ニ於テハ大體是レダケ剩ルモノヲ買ハウ、斯ウ仰シヤルナラバ、其剩ルモノハ其年度内ニ於テハ極端ニ言ヘバ賣ラヌデモ宜シイト云フ結論ニナッテ來ル、唯ソレガ需要ノ關係、景氣、不景氣ノ關係デ需要ガ多ク内地ノ米價ガ非常ニ騰ッテ來タ場合ニハ賣ルカモ知レヌケレドモ、大體ニ於テ其年度内ノ需給關係ニ於テ剩ルモノヲ買フンダ、隨テ其年度内ニ於テハ賣ル必要ノナイモノダ、私ハ斯ウ考ヘル、ソコデ今迄ノ季節調節ハ月別ノ需給關係デヤルンダ、ソレヲ年別ノ需給關係デヤルノガ今度ノ法律ダ、斯様ニ吾々ハ解釋スルノデスガ、ドウデアリマスカ

○後藤國務大臣 月別平均トラシムル爲ノ移入ト云フノハ、大體遣方ハキチント決マル譯デアリマス、出盛リ出廻リノ時期ニ買ッ

テ、後デ何箇月目カニ賣ル、今度ノハサウ云フ季節調節ノ束縛ヲ受ケナイデヤリマスカラ、年ヲ互ッテノ調節ハ出來マスガ、年内ノ調節ヲスルコトモ之ヲヤッテハイカスト云フノデハナイ、月別平均移入ト云フ束縛ナシニ、剩ル米ヲ買フト云フコトニ大體ナルノデスケレドモ、朝鮮米ノ出廻リ狀況ト云フコトハ、大體ノ流れガアリマスルガ、又内地ノ米價ノ事情ニ依リマシテハ、隨分波ガ違フ時ガアリマス、數量ガチヨット剩ルダケ買ッタト云フノデ濟ムカ、例ヘバ具體的ニ申シマス、色々ナ需給ノ關係カラ内地ノ米ガ大體足りナイト云フコトガ九年度産ノ時ニ現レタ、ソレデソレヲ補フ爲ニ臺灣米朝鮮米ガ四百萬石要ル、ソレカラ以上ハ剩ルンダト考ヘマスルト、一體ドラ以上ハ買ヘバ宜イカト云フコトガ普通ノ推算デ出マスケレドモ、ソレヲ買ッたらバソレデヤキチント正確ニ其效果ガ現レテ來ルカト云フト、サウハ行カナイ、一年内ヲ通ジテ五百萬石買ヘバ宜イト云フコトニナリマシテモ、矢張時々米ノ出方ニ依リマシテ米價ガ違ヒマスカラ、六百萬石カ七百萬石買フト云フコトガ起ルノデアリマス、サウスルト御話ノヤウニナリマスレバ、五百萬石ハ容易ニ賣レナイ、アトノ二百萬石ハ適當ナ時期

デアレバ賣ッテモ差支ナイト云フコトニナル、ソナナ譯デ數字通りキチント行カナイト云フコトダケハ御諒解ヲ願ッテ置キマス

○河野委員 サウシマス、斯ウ云フコトハドウデアリマス、此米穀年度内、今年ノ内ニ三百五十萬カ幾ラ買フト云フ御説明デアリマスガ、其數字ハ一體何處カラ出マス、言換ヘレバ三月一日ノ殘存米ノ調節見デモ、五千六百萬石、其中デ誰ガ算盤ヲ彈イデモ大體同ジニ端境期ノ消費ノ見込ハ出ルト思フ、ソレカラ政府ノ有ッテ居ルモノ、糶デ貯藏シテ居ルモノヲ引イタナラバ、殆ド端境期ノ持越ハ零ニナルト私ハ計算シテ居リマス、ソレヲ勝手ニ食フトシテモ、是カラ先ノ内地ノ需要供給ノ關係ヲ見テ見ルト、決シテ内地ノ數字の需給關係ハ過剩デナクナッテ來ル、現在ノ一千二百萬石ヲ取ッタモノハデス、サウスルト朝鮮カラ入ッテ來ルモノニハ、ソレガ三百萬石デモ何デモ調節スルト云フ數字ガ出テ來ナイヤウニ思フノデス、寧ロ朝鮮カラモウ少シ餘計入ッテ來テモ宜イト云フコトヲ理論付ケレバ理論付ケラレト思フ、サウスルトデス、政府ガ計畫セラレタ七百萬石大體買フ、五月一日ニ此法案ヲ實施シテ來年ノ三月一日迄ニ七百萬石買フノダト云フコト

ハ、ドウ云フ豫想カラデス、唯今年幾ラ來年幾ラト云フノデハナクシテ、凶年豐年ハ別ニシテ、政府ハ目安ヲ何處ニ置カレルノカ伺ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 ソレハ先達モ申上ゲタノデスガ、大體朝鮮或ハ臺灣カラ内地ニ、此米穀年度ニ入ル米ノ數量ト云フモノハ兩總督府ノ見込デヤッテ居リマス、今度ハソレガ御話ノ通り現在高調査デハ、餘程數字ガ減ッテ居リマス、其差ハ今アナタノ仰シヤッタ五千六百萬石カラ五千四百萬石デアリマスカラ、二百萬石程度デアリマス、其結果ドウ云フコトニナルカト云フト、是ハ其時々ノ需給ノ推算デハ中々旨ク行カヌノデアリマス、私ハ何時モ需給推算ガ旨ク行カヌト云フコトヲ申上グルノデスガ、ソレハ何時モ少イト推定シタ時ニ存外餘ルコトモアリ、多イト思ッタ時ニ存外減ルコトガゴザイマスカラ、正確ニハ參リマセヌガ、只今申上ゲタ米穀年度ノ方ニ於ケル推算ト云フモノハ、一應ソレヲ根據ニシテ立テ、參ラナケレバナラヌト思ッテ居リマス、ソレデ其推算ニ基イテヤルコトニナリマス、四月申ニ過去五箇年ノ平均ノ割合デ以テ米穀ガ朝鮮、或ハ臺灣カラ移入サレタトスルト、丁度五月一日以後十箇年マデノモノニ

入リマスル分ガ、朝鮮ガ二百八十八萬石、臺灣ガ二百三十萬石ト云フ數字ニナリマス、ソレデ義ニ申上ゲタヤウニ、政府ノ持米モ千三百萬石バカリアルノデアリマサガ、ソレニ依ッテモ推算過剩ノ持越デアリマスカラ、斯ウ云フ時ニハ外地カラハ殆ト移入ノ必要ガナイ、併ナガラソレヲ全部ト云フコトモ、是モ推算ヲ根據ニシテ出ス問題デアリマスカラ、考慮ノ必要ガアルト思ヒマス、大體今申上ゲタ五月一日カラ十月ノ末迄ニ至ル朝鮮、或ハ臺灣ヨリ移入サレル米穀ノ半數ヲ政府ガ買上ゲル豫定ヲ立テ、置ケバ、將來ノ米價ヲ維持スルニハ宜クハナイカト云フノデ、百四十四萬ト百十五萬ト云フ數字ヲ出シタ譯デアリマス、ソレヲヤリマシテモ私共ノ計算デハ、整理賣却ノ米ナドガ一ツモナイト云フコトハ、是ダケノ米ヲ有ッテ居レバアリマスマイシ、端境期ニナリマスレバ、民間ノ持越モ相當數ニハナルダラウト考ヘマスガ、端境期ニ何ボノ整理賣却ヲスルカト云フコトハ、只今申上ゲ兼ネマスト

石、極端ニ言ヘバ買ハナクテモ宜イト云フ結論ニナッテ來ル、サウスルト初ニ私ガ申シマシタヤウニ、數量ヲ調節スル意味ニ於テノ二百萬石ハ買ハナクテモ宜イト云フコトニナル、所ガ價格ヲ目安ニ於テ値段ヲ調節シテ行クコトニナレバ、此米價ガ下ッたら來ルモノヲ抑ヘナケレバナラスト云フ根據ガ出テ來ル、併シ前ニ私ハ數量ヲ根據ニシテ居ルカ、價格ヲ根據ニシテ居ルカト云フコトヲ同ッタノデアリマスガ、ソレニ對アルガ、數量ヲ根據ニシテ居ルヤウデモアル、所ガ勅令ニハ數量ノコトハ何モ書カズニ、價格ダケ——先程東サンガ仰シヤッタヤウニ價格ダケノヤウデスカラ、私ハ此處ニ疑問ヲ有ツノデアリマス、詰リ朝鮮ノ季節調節ノ米ハ、内地ノ最低價格ヨリ五分上廻ハレバ賣ッテモ宜イ、更ニ朝鮮デハ一割以上上廻ハッタ時ニハ買ッテモ宜イ、サウスルトソコニ矛盾ガ起ル、ドウシテモ内地ノ最低價格ヨリモ五分上廻ッタ時ニナルト朝鮮デハ賣ル譯ニハ行カナイ、下ッたら賣ル、此方ハ賣ルガ向フハ買フト云フ、兩立テノヤウナ馬鹿ナ事ヲスル必要ハナイ、ソコデ今迄ノ統制法ヲ改正スルカ、此五分ヲ更ニ一割カニ割ニ改正致シテ、先程米穀部長ガ

仰シヤッタヤウニ、買上ノ基準ヲ擴張スルコトガ出來レバ、東サンノ御希望通り買フトガ出來マス、現在ノ通りニ五分上廻ハレバ賣ルコトガ出來ルト云フヤウナ法律ノ建前デハ、ソコニ矛盾ガ出テ來ル、ソコデ價格ノ調節デハ理窟ガ合ハナクナル、サウカト言ッテ一方數量調節デ議論ショウトスレバ、今申上ゲタヤウニ現實ニ二百萬石ト云フ數字ガ違ッテ來マス、何方カラ議論シテモ矛盾ガアル、此案デハ——何處ニ矛盾ガアルカト言ヘバ、内地ハ價格ヲ最低最高ヲ決メテ、數量ハ考慮ニ入レヌ、最低デ持ッテ來レバドン／＼買ッテヤル、數量調節ナラ數量調節、價格調節ナラ價格調節トハ、キリ區別シテヤレバ宜イガ、チヤンボンニナルカラ、ソコニ矛盾ガ出テ來ル、此案ヲ季節調節ヲ擴大シテ賣ルヤウニ資力ヲ付ケテ置イテ、サウシテ買フノダトハ、キリシテ置イテ、五分以上上廻ハラナケレバ賣ラスト云フコトニナルト、此法律ヨリモ寧ロ前ノ法律ノ方ガハッキリシテ居ル、所ガ更ニ足ラナイデ之ヲ出スト云フコトニナルト、天下ノ人ハ立派ナ法律ガ出來テ之ニ依ッテ米價ガ救ハレルト云フヤウニ考ヘルガ、是デハチットモ救ハレヌ、是ハ農林大臣ノ腰ダメデ上ルカ下ルカ分ラナイ、而モ後段ノ第三條ニ在

ル賣渡ヲスル値段ハ、全ク基準ナシニ相當ノ價格デ拂下ゲル、而モ其時期ハ何時カト云フト、農林大臣ハ此法律ハ來年ノ三月マデ有效ダカラ、其間ニハサウ云フ時期ハナイデアラウト云フヤウニ、時期ニ付テハ御明示ガナイ、吾々ガ最高價格デナケレバ賣ラス方ガ宜イト言ッテモ、政府ハソレニハ御同意ガナイ、唯農林大臣ノ腰ダメニ依ッテヤルト云フ御意見ヨリナイ、最低價格ニビッタリ釘付ケサレテ、買ッタモノハ何時賣ルカ分ラスト云フヤウナコトデハ、全ク無茶ナ議論デアル、諄ク言フヤウデスガ腰ダメニ委セテ先ニ行ッテ政府ハ賣ルカモ知レヌ、賣ルカモ知レヌト言ッテ居ルノデス、絶對ニ上ル氣遣ガナクナル、是ハ寧ロ農民ニ對シテ全ク不安極マル法律デアルト認定セザルヲ得ヌ、此質問ハ私ハサウ云フ結論ダト云フコトヲハ、キリ此處デ申上ゲテ、次ノ勅令ノ第三項ニ付テ御尋シタイト思フ

第三項ニ臨時米穀移入調節法ニ依リ買入レタル米穀ノ貯藏及加工ハ朝鮮米ニ在リテハ朝鮮ニ於テ、臺灣米ニ在リテハ臺灣ニ於テ、之ヲ行フコト、云フコトニ勅令ノ内容ハナッテ居ル、所ガ先日同僚三善君カラ、朝鮮ニハソレダケノ倉庫ガナイ、ドウシテモ足ラスト云フコトヲ詳細ニ互ッテ具體的

ニ申上ゲタルデアルガ、當局ノ御意見ハ、ナケレバ内地へ持ッテ來ルト云フ御意見デアリ、之ニモ「但シ特別ノ事情アル場合」ト云ッテ逃ゲタヤウナ恰好ニナッテ居ルガ、

向フデ貯藏シ、向フデ加工スルコトガ原則ニナッテ居ル、ソレガ原則ニナッテ本法案ヲ御出シニナル以上ハ、向フニ大體ソレダケノ準備ガシテナケレバナラス、所ガ大豐作デアッタ場合ニハ事情已ムヲ得ズトシテ、ソレダケノ準備アルカドウカト云フコトヲ、

三善君カラ御尋ニナッタ場合ニハ答辯ガナイ、而モ朝鮮總督府カラ御示シニナッタ數字ヲ見マシテモ、全部デ三萬五千坪シカナイ、三萬五千坪ト云ヒマス、大體計算シテモ一萬坪ニ百萬俵ノ米ガ入ッタトシマシテモ三百五十萬俵、大體百二十萬石ノ米シカ入ラス、ソレ以上ニ餘力ガナイ、昨日ノ追加豫算ヲ見マシテモ、倉庫ヲ急ニ御建デニナルヤウナ數字ガ出テ居ルガ、アレヲ加ヘテモ政府ガ御計畫ニナッタヤウナ七百萬石ト云フヤウナ數字ハ、絶對ニ出デ來ナイモノト思フ、サウスルトドウ云フコトニ

内容ガナッテ來ルカ、向フデ倉庫ニ窮屈ヲ感ズルト云フコトニナレバ、買上ヲ自然減ル結果ニナリハシナイカ、此處デ示シタモノガ其通り實行出來ヌデハナイカト云フコトヲ、吾々ハ心配スルカラ、此點ヲ伺フノデアル

トヲ、吾々ハ心配スルカラ、此點ヲ伺フノデアル

○荷見政府委員 最初ノ數量調節デアアルカ、價格調節デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、御尋ニハアリマセヌデシタガ、一寸申上ゲテ置キマス、是ハ數量ノ調節ト云フコトハ第一條ニ明記致シテ居リマスノデ、私共ハ飽迄數量ノ調節ト考ヘテ居リマス、唯數量ノ調節ヲスル爲ニ民間ノ米ヲ買ヒマシタリ、政府ノ米ヲ拂下ゲタリスル時ノ價格ト云フモノハ、ドウ云フ標準ニ據ルカト云フコトヲ第二條及第四條ニ書イタ譯デアリマスカラ、其點左様御承知置キヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ倉庫ノ問題デアリマスガ、是ハ御話ノヤウニ、朝鮮ニハ只今デハ極ク僅カノ收容力シカナイノデアリマス、政府ガ新ニ建テルト致シマシテモ、七百萬石ヲ全部收容スルヤウナ倉庫ハ連モ建テラレナイ、唯御承知ノヤウニ倉庫ノ必要ガ起ッテ參リマスレバ、自ラ民間ノ倉庫業者アタリモ勸誘獎勵致シマスレバ、相當ノ收容力ヲ作ッテ呉レマスノデ、其民間倉庫ノ獎勵等ニ依リマシテ、相當ノ收容力ヲ得ラレルコト、思ヒマス、尙ホ只今御話ノ三萬五千坪ノ收容力シカナイト云フ報告ガアルサウデアリ

マスガ、ソレハ現在デハサウデアアルカモ知レマセヌガ、倉庫ノ收容力ト云フモノハ時々ニ違ウノデアリマス、併シ違ッテモ朝鮮ニ何百萬石ノ收容力ガアルト云フコトヲ申上ゲルノデハナイノデアリマス、相當窮屈ナモノデアアルガ、時々可動的ナ、收容力ニハ動キガアルモノデアアルノミナラズ、只今デモ幾分ノ收容力ガアルノデ、之ニ不足ヲ感ジマスレバ、朝鮮ノ倉庫業者等ニ建築ヲ

慫慂致シマシテ造ルコトモ出來マス、又政府モ自ラ必要ナ時ハ幾分ノ倉庫ノ建設モ出來ルデアリマセウ、ソレデ足ラス分ハ適當ナ他ノ地方ニ持ッテ行ッテ、收容力ノアル所ニ保管スル方法モアリマス、決シテ收容力ノ不足カラ買入ルベキ數量ガ減少スルト云フヤウナコトハシナイデ濟ムト考ヘテ居リマス

○河野委員 ソレハ少シ答辯ガ無理デヤナイカト思フノデス、現ニ内地デ今回一千萬石ノ買上ヲシテモ、相當倉庫ニ苦シグコトヲ私ハ知ッテ居ル、ソレハ私ガ申ス迄モナク、當局者ハ十分御承知デアラウト思フ、併シ内地ハ更ニ三億圓ヲ勅令事項ニ讓ッテ、大豐作ニ備ヘテ居ッテ、一千萬石位買上ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ内地デ考ヘテ居ル、此内地ノ買上ガ資金ダケハ勅令一

本デ行クカ知ラスガ、内地デ更ニ一千萬石ヲ入レル倉庫ト云フモノハ、恐ラク内地ニモアルマイト思フ、内地デ今年豐作デ又一千萬石入レルト云フタナラバ、今度コソ倉庫ハアルマイト思フ、五百俵カ八百俵入レルヤウナ田舎ノ小サイ倉庫ヲ漁ッテ入レサシテ置ケバアルカモ知レナイガ、之ヲ政府ノ役人ガ監督ノ眼ノ行届ク、政府ノ保管ノ眼ノ届ク程度ノ倉庫ト云フモノハナイデアラウ、千萬石ノ買上ノ資金ダケハ殖シテモ、今度一千萬石入レル倉庫ハアルマイト思フ、況シテ内地ノ方ハ倉庫業者ニ慫慂スレバ造ッテ呉レルカモ知レヌ、統制法ト云フ永久ノ立法ガアル、統制法ガアル以上米ヲ政府ガ持ツカラ倉庫ヲ造ッテモ損ハナイ、

二年々三年ハ利用スルト思フカラ造ル、當局モ同時ニ倉庫業者ニ法律ガアルカラ三年、五年經テバ元ガ取レル、相當ノ金ヲ出シテ倉庫ヲ造ッテモ、元ガ取レルカラ損ガナイ、然ルニ朝鮮ノ方ハ三月三十一日ニ廢メル法律デアアル、入レタ米ハ何處ニ持ッテ行クカ分ラヌ、而モ將來朝鮮デ米ノ貯藏ヲスルカシナイカ分ラヌ、サウ云フ所ガ當局ノ倉庫ハ造レヌト思フ、サウ云フ所ガ當局ノ認識不足デハナイカ、斯ウ云フ法律ヲ作ルニハ、初メニ一番本ニナル米ノ買上ノ問題

ニハ、初メニ一番本ニナル米ノ買上ノ問題

ニハ、初メニ一番本ニナル米ノ買上ノ問題

ガドウトカ、藏ノ場所ガドウトカサウ云フコトガハッキリセヌデ出スヤウナ薄弱ナ法案ハ私ハ少イヤウニ思フ、其他ノ事情ニシテモ、私共朝鮮ノ何處ヲ歩イテ見テモ、朝鮮ノ農家デミラ藏フ場所ガアルヤウナ農家ハ恐ラク私ハナイト思フ、村ニ一軒モアレバ見付ケ物ノヤウナモノデアル、消費地ニ持ッテ來テ倉庫ニ入レル以外ニ途ハナイ、大體朝鮮總督府ノ調ハ、今米穀部長ノ仰シヤルヤウナ程度ノモノデナク、朝鮮デミラ入レル所ハ是ダケデアルト云フ詳シイ調査ガ出來テ居ル、斯ウ云フ點ニ付テハ米穀部長ノ御答ノヤウナコトデナシニ、豫メハッ

キリシタ打合ガ朝鮮總督府トノ間ニナケレバナラヌ、是等ニ付テ非常ナ不備ナ點ガアル、而モ勅令ノ内容デモ今迄私ガ申シタヤウニサッパリ要領ヲ得ヌ、此前ノ統制法ノ場合デモ勅令ニ讓ルト云フカラ、政府ニ委シテ置イタラ、吾々ノ希望ト全ク反シタ勅令ヲ作ッテ、生産費ノ決メ方デモ吾々ノ希望ト全ク違フ、只今ノ季節調節ノ賣渡ノ場合デモ、最低カラ五分上廻ッタ所デ賣渡スヤウニナッデ居ルト云フコトハ、吾々ノ豫想セザル所デアル、所ガ一度勅令ニ讓ルト、政府ハサウ云フ風ニ決メル、ソコ勅令ノ内容ニ付テヤカマシク言フノデアル

ガ、此法ガ若シ此儘通過シテ、之ヲ勅令ニ委セレバ、政府ノ方デハ都合ガ好イ事情ガアルカ知レヌガ、又吾々ガ此次ノ議會デヤカマシク言ハナケレバナラスト云フコトヲ憂慮シマスカラ、此點ハ嚴重ニ申シテ置クノデアル

更ニ進ンデ御尋致シマスガ一寸朝鮮總督府ノ政府委員ノ方ニ御尋シマス、昭和八年度ノ植付反別ト反當リノ收穫量ト、之ヲ平年作ニ較ベテ増収量ハドレ位ニナッテ居リマスカ

○渡邊朝鮮總督府農林局長 昨日差上ゲマシタノデスガ……

○河野委員 一寸讀ンデ見テ下サイ

○渡邊朝鮮總督府農林局長 昭和八年度ノ作付段別ガ百六十九萬七千町歩、收穫高ガ千八百十九萬石餘デアリマス

○河野委員 平年作ニ較ベテドノ位ノ反當リノ收穫デスカ

○渡邊朝鮮總督府農林局長 反當リハ今一寸……

○河野委員 昨年ノ反當リノ收穫量ハ出テ居リマセヌカ

○渡邊朝鮮總督府農林局長 反當リノ收穫ハ一寸今出シテ居リマスカラ……

○河野委員 農林省ノ方デハ大體朝鮮ノ米

ノ増産率ハ、現在ノ作付反別ノ儘デ、産米増殖計畫ヲ打切ッタト云フコトデアリマスカラ、現在ノ百六十九萬町歩、此大體百七十萬町歩ノ昨年ノ作付反別ヲ基準ニシテ、之ニ耕作ノ改良ガ行ハレマシタナラバ、漸次増産ニナルガラウト私ハ思フ、内地ノ増産率程行カナクテモ、現在反當リノ收穫量ガ一石程度ガラウト思フ、昨年ハ豐作デアリマスカラ、一石一斗位行ッタカト思ヒマスガ、ソレニシマシテモ内地ノ反當リ收穫量ノ約二石前後ニ較ベマス、六割位ニシカ行ッテ居ラス、サウシマス、内地迄ハ進

マス、内地ハ反當リ二石ガ普通トハ決シテ吾々ハ考ヘテ居ラス、大體二石五斗カラ三斗穫レルノガ普通デアル、普通ノ場合デモ吾々ハ内地デハ二石五斗、三石穫レルト思フ、ソレニ較ベテ見ルト、半分ニモ行ッテ居ラスト云フ状態デ、是ガ來年ト言ハズ、恐ラク決シテ今年ノ數字ガ豐作トハ思レン

ノデヤナイカト思フガ、肥料ヲ少シ殖シ品種ヲ改良スレバ、現在ノ百七十萬町歩ノ耕作反別ヲ其儘ニシテ置イタラ、將來ノ産米ハ非常ニ殖エテ來ルガラウト思フ、ソレダケノ耕地面積デモ少クトモ七百萬石八百萬石ト云フモノハ自然ニ増産サレルコト、私

ハ考ヘノデアリマスガ、ドウデアリマスカ

○渡邊朝鮮總督府農林局長 昭和八年ノ産米ハ平均致シマシテ、反當リ一石七升デアリマス、平年ハ大體穫レヤウモ色々アリマスガ、大體九斗六七升デヤナイカト思ヒマス、只今ノ將來百六十九萬町歩ノ儘デハ、非常ニ増産スルノデヤナイカト云フ御尋デスガ、實ハ御承知ガラウト思ヒマスガ、朝鮮ノ方ノ耕地ハ、百六十九萬町歩デアリマスルガ、此中ノ約六十萬町歩位ガ水利ノ安

全ナ水田デ、百萬町歩餘ト云フモノハ、天水田ト申シテ居リマスガ、甚ダ水利ノ不全ナモノデアリマス、隨テ六十萬町歩ノ方ハ將來肥料ヲ施シマスレバ段々増收スル見込モアリマスガ、殘餘ノ百萬町歩ノ方ハ、或ハ三年ニ一回、四年ニ一回ト云フ風ニ、其年ノ天候ニ支配サレル状態デアリマスカラ、ドウモ思切ッテ肥料ヲ入レテ行クト云フコトハ餘程困難ナ状態ニアリマス、併シ

現狀デハ自然段々ニ進ンデ行キマシテ、漸次肥料ヲ入レルコトハ多クナッテ來マスガ、到底普通ノ水利安全ノ田ノ如ク、十分ニ肥料ヲ入レルト云フコトニハ參リマセヌカラ、反別ガ餘リ殖エナケレバ、又水利ノ改善ガ伴ハナケレバ、今後ノ増收ハ内地ノヤウナ程度デ行クモノトハ考ヘテ居リマセヌ、無論多ノ増收ハアリマス、ソレカラ多少ノ

增收ガアリマシテモ、今申ス通り天水田ガ多イノデ、非常ニ不定デアリマス

〔委員長退席、山口委員長代理著席〕

例ヘバ大正十三年ハ千三百萬石、十四年

ハ千四百萬石、昭和元年ガ千五百萬石、二

年ガ千七百萬石、三年ガ千二百五十萬石、

四年ガ千三百七十萬石、五年ガ千九百萬

石、六年ガ千五百萬石、七年ガ千六百萬石、

八年ガ千八百萬石、コンナ風ニ非常ニ不同

ガアリマス、肥料ヲヤレバ無論增收シマス

ガ、ソレヨリモ矢張雨ノ工合デ非常ニ不定

ガアルノデ、增收率ハドウモ餘リ明瞭ニ推

定出來マセヌ

○河野委員 農林省ガ今度此法案ヲ御出シ

ニナリマスノニ、明年度ハ今年度ト同ジヤ

ウニ朝鮮ハ收穫ガアル見當デ、此案ヲ作ッ

テ居ルノデアリマスカ

○荷見政府委員 矢張朝鮮、臺灣ヲ通ジテ

千二百萬石カラ千三百萬石ダケノ移入數量

ガアルモノト考ヘテ此案ヲ立テ、居リマス

○河野委員 朝鮮、臺灣ヲ通ジテ千二百

萬石、大體今年ト同様ノ作柄ノ豫想デ、今

言フ數量デ宜シイト云フコトニナリマス

ト、七百萬石ノ中ニ本米穀年度ニ於テ既ニ

二百五十萬石、ソレヲ買上ゲテシマフ、使ッ

テシマフ、サウスルト残りハ四百五十萬

デ、四百五十萬石アレバ來年ノ三月迄ハ大

體ソレデ米ガ剩ル數量ヲ買フ結果ニナルノ

デスカ、ソレトモ値段段ヲ最低價格ヲ壓迫シ

ナイヤウ風ニシテ行ケルト云フ御見込ナン

デスカ、何處迄モ數量調節デ、剩ルモノハ

ソレデ抑ヘラレルト云フ積リデス

○荷見政府委員 數量ヲ出來ルダケ「チエッ

ク」ショウト云フノデス、ソレデ四百四、五

十萬、或ハ五百萬石程度ノ米ヲ買入レルナ

ラバ、移入數量ガ相當調節サレルカラ、米

價ニモ間接ニ好イ影響ガアラウト考ヘテ居

ルノデアリマス

○河野委員 ソコデ私ハ結論的ニ御尋スル

ノデスガ、サウ云フコトニナッテ來ルト、

是ハ米穀對策ノ根本觀念トシテ、豫テ外

地米ヲ目標ニシテ米穀政策ヲ樹テルガ宜イ

ト云フ意見ノ人ガ、此處ニモ御列席ニナリ

マスガ、東サンナドモ其意見デス、ソコデ

外地米ヲ目標ニシテ内地ノ米穀政策ヲヤッ

テ行ク積リカ、ソコニ重點ヲ置イテヤッテ

行ク積リカ、乃至ハサウデナク、内地米ノ

補強工作ノ程度ヲ出ルモノデナイ、内地米

ノ米穀統制法案ヲ中心ニシテ進ンデ行クモ

ノカ、何レニナッテ來ルカ、朝鮮臺灣ニ於テ

今御説明ノヤウニ剩ルモノヲ何處迄モ買ッ

テシマフ、大體朝鮮臺灣ノ外地米ニ對スル

觀念ハ、今御伺シタヤウナ結果デ、サウ云

フコトニナッテ向フデ買ッテシマヘバ、内地

ノ方ガ非常ニ從タルモノニナッテ來ル、ソ

レハ内地ガ平年作ノ場合ヲ言フテ居ル、サ

ウ云フコトニナッテ來ルト、統制法ガ從タ

ルモノニナッテ、外地米ノ今度御出シニナ

ルモノ、方ガ主タル働キラ爲スヤウニナッ

テ來ルヤウニ私ハ思フ、サウスルト其場合

ニハ、目標ノ一體何方ヲ目標ニ進ンデ行ク

カト云フコトヲ、是ハ農林大臣カラ御答ヲ

願ヒタイ

○後藤國務大臣 御話ノ如ク昭和九年ノ產

米ガ大體平年作デアル、臺灣、朝鮮モ平年作

デアル、今ノ一千二百三十萬石ト云フモノハ

大キク見積ツタコトニナリマスガ、ソレ程

入ッテ來、ルサウスルト今二千四百萬石ノ

買入ノ數量ノ調節ヲヤリマス、數量調節

デアルカラ、申セバ時ノ經濟事情デ、矢張米

價ガ下ルト云フヤウナ場合ハ、買入レル場

合ガアルカモ知レマセヌ、大シテ働カナク

テモ内地ノ數量ハ自然ソコニ均衡ヲ得テ、

公定價格ノ範圍内ニ數量的ニ申セバ出來ル

カモ知レマセヌ、統制法ガ從ダト云フ譯デ

ハアリマセヌ、併シ買入ラスルト云フコト

ハ、一年間ノ臨時法ニ出シテ居ルノデアリ

マシテ、統制法ヲ從ニ之ヲ主ニシタ譯デモ

何デモアリマセヌ、サウ云フコトヲ假想ス

レバ、サウ云フ場合ガ起リ得ル、一種ノ働

キガ茲ニアルト云フコトヲ證明シテ居ルコ

トニナルト思ヒマス

○河野委員 サウスルト、茲ニ一千萬石モ

買上ヲシナケレバナラヌヤウナ大豐作ガ

アッタト假定スル、サウシタ場合ニ朝鮮ニ

於テモ買上ヲ爲サルト云フコトニ考ヘテ宜

シイノデスカ

○荷見政府委員 ソレハ現在ノ法律ノ建前

デ參ラナケレバナラヌト思ッテ居リマス、

サウ云フ風ニ非常ニ豐作デ、供給ガ過剩デ

米價ガ下リマスレバ、最低價格ニ依ル賣渡

ノ申込ガ内地デハ非常ニ多イノデアリマ

ス、此點ニ付テ價格ノ調節トシテハ、飽迄

モ賣渡ノ申込ニ應ジテ米ヲ買ッテ行ッテ、價

格ヲ維持スルコトニ努メルコトハ、統制法

ノ命ズル通りニ致サナケレバナラヌト思ヒ

マス、ソレガ爲ニ資金ノ必要ガアレバ、又

三億圓ノ範圍マデモ喰込ム場合ガアルカモ

知レマセヌ、其他ニ季節調節ト致シマシテ

ハ、ソレハ數量ノ調節ニ依ッテ、成タケ米

價ヲ維持シ、最低最高ノ價格ニ打付ケナ

イヤウナ建前ヲ取ルト云フコトハ、前ニ

御決定ヲ願ッタ統制法ノ一ツノ働キデアリ

マスカラ、數量調節ニ依ッテ内地ニ於テハ

又買入ヲ致シマス、朝鮮ニ於テハ今回ノ臨時法ガ出デ居リマスカラ、來年ノ三月末日迄ノ間ニハ、此法律ニ依ッテ内地ニ移入サレル米穀ノ數量ヲ調節ヲ致シマス爲ニ、適當ナ限度マデ米ノ買入ヲ致シマス

○河野委員 サウヂヤナイノデス、今何方ガ主カ從カト云フコトヲ聽イタノデス、若シ來年一千萬石剩ッテ、三億圓殖ヤシテ置カナケレバナラスト云フ不幸ナ場合ガ生ジタ場合ニ——幸カ不幸カ知レマセヌガ、兎ニ角サウ云フ場合ガ生ジタ場合ニ、朝鮮ノ方デ一千萬石モ買ヘバ内地ノ米價ガ相當維持サレルカラ、申込ガアレバ無論内地デ御買上ニナルデセウ

〔山口委員長代理退席、委員長著席〕
米ノ需給關係ガ、全體剩ル關係ニアル時ニ、朝鮮デ五百萬石デモ八百萬圓デモ買フカドウカ、斯ウ云フコトデス

○後藤國務大臣 御質問ハ一億五千萬圓ノ資金ヲ増加シテ朝鮮米ヲ買フノダガ、ソレハ八年九年ノ產米ヲ通ジテ七百萬石、而シテ内地ニ又大豐作ガ來テ一千萬石モ買ハナケレバナラスト云フ時ニハ、三億圓ト云フ茲ニ準備金ガアルガ、其三億圓ヲ今度臺灣米ノ買上デノ方ニ持ッテ行ッテ、ソレデ更ニ臺灣米ヲ一千萬石モ買ヘバ始末ガ付クヂヤ

ナイカ、數量調節ニ關スル限リニ於テハ、

臺灣米ヲ買ッテ宜イヂヤナイカ、斯ウ云フ積リカト云フ、サウ云フ積リデハアリマセヌ、是ハ大體統制法ニ依ッテ最高最低ノ價格ヲ維持スルコトガ統制法ノ目標ニナッテ居リマスカラ、朝鮮ノ米ヲ更ニ一千萬石買ヘバ、内地ノ最低價格ヲ廻ラナイデモ、數量ノ調節ハ付クデセウガ、ソレデハ移入朝鮮米ハ一時高イモノニナリマセウ、是ハ最低價格デ買フ譯デハアリマセヌカラ、ソレデ數量調節ヲ吸上ゲヨウト云フノデスカラ、ソレハ内地ノ米ノ品質、格差ノ如何ニ拘ラズ、朝鮮米ト云フモノハ、特別ナ需要ガ非常ニ大キナ數量デ起キテ來ルカラ、朝鮮米ハ上ルダラウト思ヒマス、併ナガラ内地ノ米價ヲ維持スルト云フノハ、數量ノ調節ニ依ッテ米價ヲ維持スルト云フコトハ、ソレカラ米價自體ヲ維持スルト云フコトハ、先刻カラ屢、話ガ出テ居リマスカラ、價格調節、數量調節、是ハ昔カラ高橋藏相ト山本當時ノ農商務大臣トノ間ニ大分議論ノ交サレタ所デスカ、吾々ノ見解ヲ以テスレバ、數量ノ調節ハ價格ニ影響スルコトハ勿論デアリマス、併ナガラ價格ノ調節ト云フコト——殊ニ統制法ノ價格調節ト云フノハ、數量ヲビタット合スレバ、ソレデ最低價格ガ果シ

テ維持出來ルカト云フニ、サウハ行カナイ

場合ガアル、最低價格デアレバ幾ラデモ買フ、斯ウ云フ意味ヲ狙ッタ所ニ、兎ニ角最低價格ガ維持出來ルノデアリマス、併シソレハ數量ヲ無暗ニ大キク調節スレバ、價格ト云フモノハ狙ハヌデモ、ズン／＼高イ所ニ持ッテ行ケル、數量調節、價格調節ト云フモノハ、御互ニ無論相關ノ關係ハアリマスケレドモ、又直接ノ效果ト云フモノハ、自ラ多少違ッタ點ガアリマス、統制法ハ價格調節ヲ目標トシテ出來テ居リマスカラ、是ハ統制法ノ效力ヲ十分ニ發揮スル爲ニ、矢張今年ノヤウナ大豐作ニナリマスレバ、千萬石近クモ政府ハ内地ノ米ヲ最低價格デ幾ラデモ準備ヲシテ買向ッテ行クコトヲシナケレバナラスト、隨テ臺灣米ヲ數量ニ調節スル限度ハ、自ラ其處ニ境ガアラウト思フノデアリマス、無論澤山買ヘバ買フ程此效果ハ大キイノデアリマスカラ、ソレニ依ッテ臺灣米ニ對スル需要ヲ集中シテ、高イ値段デ強ヒテ臺灣米ノ爲ニ價格調節ヲスル必要ハナイノデアリマス、兩者ヲ區分シテ實行スルト云フコトガ一番適切デアラウト思ヒマス

○河野委員 私最後ニ此法案ノ缺點ダケヲ指摘致シマシテ質問ハ止メルコトニ致シマ

ス、是カラ私ガ申上ゲルコトヲ十分ニ政府

ハ御注意願ヒタイト思フ、今農林大臣ノ御答辯ハ私要領ヲ得ヌノデアリマスカラ、數量ヲ調節スルノガ建前ダト、斯ウ仰シヤル内地デ剩ルダケノモノデ外地米ヲ買ウカドウカト申シマス、ソレハサウデハナイ、内地デモ最低價格デ引取ラナケレバナラスト、外地ハ大體ノ數字デ買フノダ、其點デ要領ヲ得ナイ、更ニ之ヲ政府ノ言フ通りニ解釋シテ、其缺點ヲ指摘致シマス、内地ノ農民ハ最低價格デナケレバ政府ニ買ウテ貰ウコトガ出來ヌ、外地ノ農民ハ最低價格ヨリモ多少デモ向フノ計算デ上廻ッタ値段デ買上ゲテ貰フコトガ出來ルト云フ、外地内地ノ間ニ差別待遇ヲサレルト云フト、内地ガ壓迫ヲ受ケルモノデアルト云フ缺點ガアリマス

其次ニ申上ゲタイノハ、此統制法ト今度ノ法律ヲ通ジテノ缺點デアリマスルガ、大體農林省ガ米ノ買上ヲ爲サル場合ニ於テ、格付ヲ御決メニナル、ソレニ非常ナ缺陷ガアルト申シマスノハ、現在統制法ヲ施行シテ居リマス所ノ茨城縣ノ四等米、兩備ノ四等米ニ關聯シテ、外地ノ格付ヲ決メテ銘柄ヲ決メルト云フ場合ニ、銘柄ガ一體何カラ出テ來タカト云フ點ニ於テ、將來速ニ御考慮ヲ

願ヒタイ、ト申シマスノハ、是モ質問應答

ノ方ガ數字ガ多イ、中庸生産費ヲ取り、中

○胎中委員長 川崎君

大體凡ソ出來ルコトデアルト思ッテ居リマ

ヲ重ネルト長クナリマスカラ、御注意願ヒ

庸ノ最低値段ヲ取りナガラ、其當嵌メル米

○川崎委員 私ハ農林大臣ニ御尋シタイノ

ス、併ナガラ是ハ如何ナル生産ノ狀況ニモ

タイト申シマスノハ、大體吾々ガ此統制法

質銘柄ガ全體ノ米カラ見マスト、上ノ方ノ

デアリマスガ、成ダケ簡單ニ伺ヒマスカ

拘ラズヤッテ行クト云フコトニナリマスレ

竝ニ總テノ米穀政策ニ關シテ、最低價格ニ

高イモノニナッテ居ル、此茨城ノ四等米、兩

ラ、簡單ニ御答ヲ願ヒマス、統制法ニ依ル

バ、資金ガ幾ラデモ要ルノデアリマス、資

付テ非常ニ深刻ニ吾々ハ考ヘテ居ル、而モ

備ノ四等米ヨリモ更ニ上等品ニ屬スルモノ

數量、價格ノ調節ヲ、米ノ買上賣渡ト云フ作

金サヘ幾ラデモ出スト云フコトナラバ、此

其決定ニ當ッテハ、生産費ノ調ヲヤリ、米

ハ、一千萬石カ一千五百萬石シカ私ハナイト

用デヤッテ宜イト云フ統制法ノ建前デア

一本デ、最低最高ノ價格ハ何處迄モ維持出

穀委員會ニ掛ケテ非常ニ面倒ナ事ヲ決メ

思フ、是ヨリモ下ニアルモノハ非常ニ大量

トスルト、更ニ奧ニ今少シ考ヘナケレバナ

來ル、併ナガラソレハ資金等ノ關係デ何處

テ、二十三圓三十錢ト云フ數字ヲ御出シニ

デアッテ、隨テ全國ノ農民ハ米ヲ政府ニ賣

ラヌ點ガアルノデハナイカト思フノハ、近

迄モ無限ニサウシテ行クトハ非常ニ困難

ナリナガラ、此二十三圓三十錢ヲドノ方面

渡ス場合ニ、中庸ノ生産費、中庸ノ價格デ

來數年ニ互リ米ノ生産セラレテ居ル趨勢ヲ

眺メテ、此狀態デハ過剩米ハ唯買上ノ一手

ノ米ニ持ッテ行ッテ打付ケテ居ルカ、ドノ方

賣ル場合ヨリモ、下デ賣ル場合ノ方ガ多イ、

ニ依ッテ、所謂統制法デ立向ッテ、最低價格

節ヲ考ヘテ行ク方策ヲ講ジナケレバナラヌ

面ニ此米ノ銘柄ヲ當嵌メテ居ルカト云フ場

詰リ平均値段デアリナガラ、農家ガ賣ル米

ヲ下廻ル場合ニ幾ラデモ買フノダト云フ以

ノデアル、其一面ニ於テハ生産ノ方ニ於ケ

合ニ、何等ノ基準モナシニ、何等ノ根據モ

ハ、平均値段ヨリモ、モット安イヤウニ賣

外ニ何モノナイト云フコトデハ、是ハ行詰ル

ケル政策ト云フモノガ考ヘラレテ行カナケ

ナシニヤッテ居ル、兩備ノ四等米ト茨城ノ

ラナケレバナラヌヤウナ結果ニナッテ居ル、

ヨリ外ニ途ガナイノデアッテ、ソコデ農林

レバナラヌ、所ガ是ハ統制法デ公定價格ヲ

四等米ニ當嵌メル——兩備ノ四等米ト茨城

是ハ中庸ヲ取ッテ銘柄ヲ御決メニナル際ニ、

大臣ハ是デハイカスト云フノデ、減反案ヲ

定メテ、ソレデヤッテ行クト、ソレデ直グ

ノ四等米ニ當嵌メルノハ、唯簡單ニ東西

何等米ニ對シテ「ウエー」ガ加味シテ居ナ

御考ニナッタノダト私ハ思フノデアリマス

維持シテ行クト云フヤウナギリ／＼トシタ

ノ取引所ニ於テ、是等ノ米ハ都合ガ好イカ

イ、米ノ生産費ニ對シテ其數字的「ウエー

ガ、減反案ノ良否ハ先ヅ別トシテ、統制法

眼ノ前デ始終動イテ行ク働キトハ違ヒマシ

ラ中米ニ取ッテ居ルダケデアアル、ソレハ何

ト「ガ何等加味シテ居ナイカラ、斯ウ云フ

ダケノ作用デハ根本ノ運用ノ解決ガ付カヌ

テ、可ナリ時ヲ要シテ複雑ナル仕組ト、複

等ノ根據ガナイ、現ニ吾々ノ計算ニ依リマ

コトニナッテ居ル、此點ハ速ニ御改正願ヒ

ト云フコトハ、農林大臣ハ御分リニナッテ居

雜ナル方法デ行ハレテ行カナケレバナラヌ

シテモ、内地ニ於テ生産サレル所ノ六千何

タイ、是ハ重大ナ缺陷デアアル、ドレダケ全

ルコトガラウト思フノデアリマス、私ハソ

ト考ヘマス、私ハ日本ノ米穀ト云フモノ、

百萬石ノ米ノ中、關東デ三千萬石出來ル、

國農民ハ不利益ヲ招クカ分ラヌト云フコト

コニ根本ノ問題ヲ考ヘル點ガアルト思ヒマ

政策ヲ考ヘマス時ニ御承知ノ通り生産統制

其關東地方ニ於テ茨城ノ四等米ハ真中ドコ

ヲ私ハ明確ニ指摘致シマス、其他今マデ質

問致シマシタ條項ニ於テ、賣渡ノ價格ノ腰

ト云フコトモ大キナ根本問題ノ一ツデア

ロニアルカ、三千萬石ノ中ノ千五百萬石程

ダメデアアル點ハ、何ト云ッテモ今度提案ニ

ナッテ居リマスカ、伺ヒタイ

ト考ヘテ居リマス

度ノ所ニアルカドウカト云フコトヲ考ヘテ

ナリマシタ法案ノ重大ナ缺點デアリマスカ

ラ、此點ハハッキリ申上ゲテ私ハ質問ヲ止

ニ依ッテ、一定ノ價格ノ維持ト云フコトハ、

見ルト、決シテソシナモノデハナイ、寧ロ

茨城ノ四等米ハ米質ト致シマシテハ上ノ方

メマス

○後藤國務大臣 統制法ノ最低、最高價格

ニ在ル、隨テ此茨城ノ四等米ヨリモ下級米

○後藤國務大臣 農林大臣ノ御答ノ一番初メ

ニ、唯價格調節ヲスルナラバ資金サヘアレ

ニ、唯價格調節ヲスルナラバ資金サヘアレ

バ幾ラデモ立向ッテ行ケルト云フコトヲ仰シヤッタ、是ハ私ハ資金ガ何程アッテモ、倉庫ノ準備モ何モナシデハ、立向ッテ行ケナイト思ヒマス、生産ガドレダケ過剰デアッテモ、立向ッテ行ケルト云フコトハ言ヘナイ、又資金ガアッテ立向ッテ行ッテ、其資金ト云フモノガ、他日國庫ノ損失トナラズニ還ッテ來ルナラ宜シイカ、是ハ悉ク赤字トナッテ一般財政ニ禍シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデアルト他ノ途ヲ執ラナケレバナラヌ、他ノ途トハ何ゾヤ、今ノ御話ノ需要供給ノ關係ノ根本ヲ考ヘルト云フコトニナル、私ガ此處デ其問題ヲ伺フ所以ハ、農林大臣モ其點ハ能ク御考ダラウト思ヒマスガ、今日ノ自由經濟ニ於ケル資本主義ノ缺陷ト思ハレテ居ルノハ其點ニアル、唯農村ハ努力シテ、勤勉シテ働ケバ宜イ、ソレデ自分ノ生産ガ保障サレルト思タ昔ノ時代ト違ッテ、努力シテ働ケバ働クデ出來タモノニ對スル價格ノ低落カラ來ル脅威ヲ受ケテ居ル、是ハ獨リ日本トハ言ハヌ、世界中此傾向ガアル、此傾向ガアルガ爲ニ之ヲ統制スル議論ガ生レ、統制經濟論ノ生レテ居ル所以モ此處カラ來テ居ルノデ、私ハ何モ統制經濟ヲ頭カラ鵜呑ミニシテ賛成スルノデハナイ、賛成スルノデヤ

ナイガ、政府トシテハ茲ニ大體ノ目安ヲ附ケテ、個人ノ經濟安定ノ上ニ、損害ノ成ベク少カラシムル方法ニ出ルト云フコトガ、其役所ヲ主管スル農林大臣ノ指導精神ノ如何ニ依ッテ重大ナ影響ガアルト思ヒマス、所ガ今マデ農林大臣——私ハ歷代ノ農林大臣ヲ言フノデアッテ、後藤君ガ其事ヲヤッテ居ラレルト云フコトヲ指スノデハナイガ、歷代ノ農林大臣ノ農業政策、殊ニ米ニ對スル政策ノ指導精神ト云フモノハ悉ク上カラ下マデ増產計畫、試驗場ト云フ試驗場ハ皆増產計畫ノ獎勵ナラザルナシ、縱ニ獎勵シテ居ルノミナラズ、横ニモ亦増產計畫ナラザルナシ、例ヘバ開墾助成ニ致シマシテモ、耕地整理ニ致シマシテモ悉ク増產計畫ナラザルナシ、而シテ此増產計畫ノ爲ニ生ジタル過剩米ノ處分ニ困ッテ米穀法ニ依ッテ唯買上一本デ向ッテ居ルト云フ此行方ハ、私ハ大キナ矛盾ガアルノデハナイカ、米穀問題ハ私ハ素人デ分リマセヌガ、大摺ミニ考ヘテ經濟上ノ理論カラ出發シテ、茲ニ大キナ矛盾ヲ私ハ考ヘザルヲ得ナイノデス、斯ウ云フコトニ對スル政策トカ、指導精神ト云フモノハ農林大臣カラ外ニ向ッテ出テ行ク、農林大臣ノ手足トナッテ働イテ居リ、血管トナッテ動イテ居ル、アナタノ主管

ノ試驗場ト云フ試驗場ハ——何モアナタニナッテ言フノデハナイ、歷代之ヲヤッテ來テ居ル、皆増產計畫デアアル、一段歩ニ幾ラ餘計穫ッタカラト云ッテ賞與ヲ貰ッテ居ル、上カラ下マデ、農會デモ何デモサウデアアル、横ニ擴ッテ行クモノハ耕地整理デアリ、開墾助成デアアル、縱ニモ横ニモ擴ゲテ置イテ、是ガ剩ッタカラ之ヲ統制法デ立向ッテ何億圓ノ金ヲ使ッテ、其金ハドウカト云フト、恐ラク農林大臣モソナコトハ御承知デナイ筈ハナイノデスガ、是ハ一般會計ヲ煩シテ、ドウセ公債ニ借換ヘラレテ、國民負擔ニナルノダカラ、私ハ日本國民ガ膽氣ナガラ懷イテ居ル矛盾、大キナ矛盾ニ打突カッテ居ルト云フ感じヲ懷イテ居ルノデアリマス、茲ハ一ツ根本ノ問題デアリマスカラ、ドウ云フ氣持デ後藤君ハ此事ニ對シテ居ラレルノデアルカ、伺ッテ見タイト思ヒマス

○後藤國務大臣 過去ノ我國ノ米ニ關スル生産方面ノ政策ガ、常ニ増產目標ノ政策デアアル、私ハ大體サウデアアルト思フノデス、併シ過去ノコトヲ過ト申スコトハ酷ナルモノダト思ヒマス、大體我國ノ經濟事情、人口ノ増殖、總テノ事情ガ増產ノ結果ヲ經濟的ニハ有利ナラシメテ居ッタノデアリマス、隨テ色々方面ニ増產、増殖ノ指導獎勵努力ガ行ハレタト云フコトハ、私ハ必ズシモ過デアッタトハ考ヘマセヌ、併ナガラ經濟事情ノ變化ト、又色々ノ技術上ノ進歩、農民ノ精勵努力ト云フモノガ相俟ッテ非常ナ今日デハ——或ル一定ノ價格ヲ以テ農家ノ米ガ賣ラレルヤウニシヨウト云フコトニハ、過剩ノ狀態ヲ齎ラシテ來タノデアリマス、ソコデ今段々今後ノ生産ト云フ方ニドウ云フ政策ヲ採ッタラ宜イカト云フコトガ、問題トサレルコトニ相成ッタ譯デアラウト思ヒマス、ソレデ私ノ理想トシマシテハ、米ノ生産ガ彈力的ニ行ハレルコトガ出來レバ非常ニ宜イト思ヒマスガ、此彈力性ハ我國ノ全領土ヲ通ジテ一齊ニ彈力的ニ行フト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウ、或ハ或ル地域々々ニ於テ大キナ彈力ヲ有タセテ置クト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウ、是等ガ生産政策トシテ今後考究サレルベキモノダラウト思ヒマス、御話ガアリマシタカラ、一言觸レマスケレドモ、我ガ内地ニ於ケル耕地政策ノ此二、三年ニ於ケル現狀ノ行方ト云フモノハ、是ハ大キナ變改ハ困難デアラウト思ヒマス、ト云フノハ潰レル土地ヲ補フ程度ニシカ參ッテ居リマセヌ、併ナガラ今後人口ノ増殖、又經濟界ノ繁榮ト云フモノガ一朝參リマスト、今日ノ米ノ供給

ト云フモノガ必シモ過剰デナイ時代ガ來ル
カモ知レマセヌ、食糧ノ供給ハ何トシテモ
領土内ニ於テ一種ノ彈力性ヲ有ツト云フコ
トガ理想デナクテハナラナイ、サウ云フ見
地カラ此代作ト云フモノヲ考ヘ、又代作ガ
或ル時機ニハ轉換サレル、或ル年限ハ代作ヲ
シテ居ルケレドモ、必要ガナクナッテ來レバ
ソレヲ止メテ、又他ノ物ヲ作ルト云フコト
ガ今後ノ農業生産政策ニハ考慮サレル問題
デアラウト思ヒマス、我國ノ米穀政策ノ上
ニ於テ、生産政策ノ上ニ於テ今後相當ナ深
イ考慮ヲ費シテ、需給ノ基本ノ建設ヲ行フ
ト云フ事柄ヲ考究シナケレバナラスト云フ
コトハ私モ御同感デアリマス

○川崎委員 歴代ノ政府ガ増産計畫ヲ獎勵
シテ來タコトハ、必シモ過デナイト思フト
辯護ヲ爲サルコトハ、私モ決シテソレヲ過
トハ思ヒマセヌ、或ル時代ニハ米ノ不足ガ
アツタ爲ニ、殊ニ朝鮮ニ對シテ産米増殖ノ
計畫ヲ立テ、内地米ノ增收ヲ獎勵シタコト
モアツタノデスカラ、ソレヲ惡イトハ申シ
マセヌ、併シ時勢ヲ見テ需給對策ヲ講ズル
ト云フコトハ、農林大臣ノ御考ヘニナラナ
ケレバナラヌ仕事デアッテ、一三年ノ日本
ノ米ノ趨勢ヲ御覽ニナレバ、大體次ニ處ス
ベキ方法ハ御分リニナッテ居ル筈デアル、

其建前カラ私ハ伺フ、ソコデ今ノ彈力性ヲ
持タセナケレバナラヌ、米ノ需給對策ノ根
本ヲ研究シナケレバナラスト云フコトニ歸
著スルコトデアラウト思ヒマスガ、一體其
處ニ來ナケレバナラヌコトヲモット早く自
覺シテ貰ッテ居レバ宜カッタノデハナイカト
思ヒマスガ、ソコマデ考ガ行カナカッタ爲
ニ、今日はダケノ大キナ過剰米ノ處分案ヲ
御出シニナラナケレバナラナカッタコトヲ
私遺憾ニ思フ、ソレト同時ニ減反ヲスルナ
ラバ直グニ代作獎勵ノ爲ニ賠償シナケレバ
ナラスト云フコトニナッテ、直グニ金ノ問題
ニナルノデアリマスガ、金ノ問題デナシニ、
生産ヲ或ル程度ニ調節スル方法ガ考ヘ出サ
レナカッタカト思フ、斯ウ云フト私ノ質問
ニ對シテ甚ダ御答ガシ惡イト思ヒマスガ
ラ、例ヲ擧ゲテ一ツ伺ッテ見タイ、私ハ米
ニ對シテハ素人デ能ク分ラヌノデスガ、大
體生産費ヲ見ルノニ、勞力費ト肥料代トハ
公課ト云フモノガ一番嵩高イ金額ニ上ッテ
居ル、次ニ肥料代ニ付テハ金肥ニ依ルノト、
自給肥料ニ依ルノデハ米ノ生産ノ上ニ多大
ナ影響ガアルヤウニ思フノデスガ、ソレハ
影響ハナイト云フヤウニ御考ニナッテ居ル
カ、若シ影響ガアルト云フナラバ、ソレニ
適スル方法ヲ講ゼラルベキコトデアッタト

思ヒマスガ、是ハ如何デアリマスカ

○後藤國務大臣 御質問ノ御趣旨ガ能ク私
ニハ分ラナイノデスガ……

○川崎委員 私言葉少ナニ伺ッタノデ御分
リ惡クカッタト思ヒマスガ、私例ヲ擧ゲテ
質問致シタイ、是ハ朝鮮ノ事情ヲバハッキ
リ伺ハヌト分リマセヌガ、朝鮮ノ反當リノ
收穫ハ今ノ所デハ平均一石七升ト云フコト
デアリマス、此中デ天水田ニ依ル田畑ガ百
萬町歩、ソレカラ普通ノ水利組合ナドニ依
テ居ル安全地帯ニアルモノガ六十萬町歩
ト云フモノデアッテ、此六十萬町歩ノ一體
平年作ハドレダケカト云フコトヲ伺ハヌ
ト、此數字ガ出デ來ナイノデスガ、朝鮮ノ
肥料ノ施シ方、内地ノ肥料ノ施シ方ハ頂戴
シタ資料ニ依ルト、斯ウ云フコトニナッテ
居ル、内地デハ反當リ肥料ハ十圓三十六錢
デアアル、朝鮮ハ五圓十五錢デアアル、ソコデ
朝鮮デハ自給肥料ヲドレダケ使ッテ居ルカ
ト言ヘバ、朝鮮ハ三圓十錢、自給肥料ヲ使ッ
テ、金肥ハ二圓五錢、此割合ハ十分ノ六自給
肥料ヲ使ヒ、ソレカラ十分ノ四金肥ヲ使ッ
テ居ル、内地ハドウデアアルカト言ヘバ、
内地ハ十圓三十六錢デアッテ、金肥ハ五圓
四十九錢デ、十分ノ五以上使ッテ居ル、自
給肥料ハ四圓八十七錢使フ、是モ金肥ト比

較スルト十分ノ四半餘リデ、割合ハ朝鮮ノ
方ハ自給肥料ノ使ヒ方ガ多クテ、内地ノ方
ハ遙ニ自給肥料ノ使ヒ方ガ少イ、金肥ノ使
ヒ方ガ多イ割合ニナッテ居ル、是ハ永イ間
ノ慣習ガ違ヒ、文化ノ事情ガ違ヒ、色々ノ
事情ガ茲ニ綜合シテ居ルノデセウガ、斯ウ
云フコトガ生産ノ上ニ影響ガアルノデハナ
イカト私ハ思フノデス、此處マデ言ハナケ
レバ分ラヌデハ一寸困ルノデスガ、是ナラ
バ御分リニナルデセウ

○後藤國務大臣 最初カラ大概サウ云フコ
トデアラウト推測ハ附イテ居ッタガ、ハッキ
リシマセヌデシタ、結局斯ウ云フコトヲ御
尋シテ居ラレルノデアラウト思ヒマス、米
ノ生産統制ト云フ政策ヲヤルノニハ、金肥
ヲ制限スルナリ、禁止スルナリシテヤッテ見
タナラバ、生産ハ少クテモ百姓ハ支出ガ少
クテ、勘定ガ合フヤウニナッテ來ルノデヤ
ナイカ、サウ云フコトヲ考ヘテ居ナカッタ
カト云フ御尋デアラウト思ヒマス、サウ云
フ議論モアリマスケレドモ、是ハ一寸中々
行ヒ難イコトデアリマス、ト申シマスノ
ハ、金肥ヲ假ニ禁ジテ、皆自給肥料デヤレ
ト言フガ、自給肥料ハ取レル所モアリマス
レバ、取レヌ所モアリマス、殊ニ米ノ本場、
詰リ水田地ノ方ハ自給肥料ハ困難デス、サ

ウ云フ所デ自給肥料以外ハ使ッチヤイケナ
イト云フコトニシタナラバ、是ハ大變ナコ
トダラウト思ヒマス、ソレカラ制限ヲシテ

アル分量以上金肥ハ使フナト云フヤウナコ
トハ、政府ガ肥料ノ專賣デモヤッテ、政府
ノ渡スモノ以外渡サヌト云フコトニシタ
ラ、ヒョットシタラ出來ルカモ知レマセヌ、
連モ中々實行ノ上ニ於テ容易ニ御考ノヤウ
ナ效果ヲ奏スルコトハ、餘程ムヅカシイ、
併ナガラ農家ノ人達ガ自分デ自覺ヲシマシ
テ、成ベク金肥ヲ少クシテ、自給肥料ヲ多
クシテ、算盤ノ上デハ金肥ヲ使ッテ生産ス
ルヨリモ、自分ノ收穫ハ少クテモ、結局利
益ノ大キイ生産ヲスルコトヲヤリマシタ
ナラバ、非常ニ結構ナコトデアラウト思
フ、併ナガラ是ハ政府ガ一片ノ法令デ以テ
短時日ニ直グ其結果ヲ舉ゲルト云フヤウナ
コトヲ致サウト云フコトハ、非常ニ困難デ
アリマス、矢張農家ノ共同動作、協力一致
ト云フ事柄カラ段々其事ニ進ンデ参リマス
コトヲ、吾々ハ今日非常ニ獎メモ致シテ居
リマスシ、今後モ大ニ是非ソレヲ獎メテ行
キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、或ル
時機ニ思切ッテ肥料ノ制限ヲスルト云フコ
トハ、絶對ニ考ヘラレヌコトデアリマセ
ヌケレドモ、今直チニ御話ノヤウナ效果ヲ

舉ゲルヤウナ方法ヲ直グ實行スルト云フコ
トハ、非常ニ私ハムヅカシイト思ヒマス

○川崎委員 私ハ今ノ農林大臣ノ答辯ヲ得
マシテ、二ツ答案ヲ得ルコトガ出來タ、一
ツハ法令ノ力ニ依ッテ金肥ヲ制限スルコト
ニ依ッテ效果デアルト云フコトハナイ、併
ナガラ是ハ考ヘナクチヤアレナイト云フコ
トヲ申シマシタ、法令ノ力ニ依ラナイデ農
民ノ自覺ニ依ルト云フコトナラバ洵ニ結構
ダ、是ハ増産ヲ或ル程度迄抑ヘルコトハ出
來ルト言フ、ソレナラバ私ハ、ソレダケデ
モヤラレテ居ッタナラバマダ宜カッタウト
思ヒマス、是ハ徹底的ニ色々宣傳方法ヤ
何カニ依ッテ、農民ニ自覺ノ出來ルヤウニ、
數量的ニ自給肥料ヲ使ッタ生産額ト、金肥ヲ
使ッタ生産額トノ割合ヲ數字デ出シテ、サウ
シテ又統制法ニ依リ是ダケノ損失ヲ國家ガ
負フノデアルト云フヤウナ數字ヲ圖面デ理
解ノ出來ルヤウニ、徹底スルヤウナ方法ニ
依ッテ農民ニ自覺ヲ求メルヤウナ方法ハ、是
ハ出來タト思フ、其事ハ機會アル毎ニヤッ
テ居ラレルト云フヤウニ御話ニナッタケレ
ドモ、ドウモサウ云フ風ニ徹底ハシテ居ナ
イノデ、其點ハ洵ニ私遺憾ニ思フノデスガ、
其點ヲ徹底サスト云フコト、法令的ニ之
ヲヤルト云フコトモ生産制限ノ上ニ非常ニ

力ガアルコトデ、其利害ハ非常ニ考ヘテ貫
ハナケレバナラスコトデアリマスケレドモ、
是ハ一ツノ大キナ問題トシテ、今日事茲ニ
至ル迄ニ、今少シ御考下サレタナラバ宜カッ
タノデハナイカト云フコトヲ私共ハ考ヘ
テ、ソコノ所ハドウモ私ハ甚ダ遺憾ニ思ハ
レテナラスノデスガ、農林大臣ハ其方法ハ
御執リニナッタカ、考ヘラレテ居ッタナラ、其
考ヘラレテ居ッタ内容ヲモウ少シ伺ッテ見タ
イモノデス

○後藤國務大臣 其事ハ極ク具體的ニ申上
ゲマス、所謂自給肥料ノ獎勵ト云フコト
ニ、極ク簡易ニ申ストナルト思フノデアリ
マス、是ハ歷代ノ政府デモ隨分考ヘテ參ッ
モノデアリマス、殊ニ先年ノ時局匡救事業
等ヲヤリマシタ際ニハ、堆肥ノ獎勵ト云フ
コトヲ可ナリ加速度ニ致シ、可ナリ獎勵費
等モ使ヒマシテヤッタノデアリマス、併ナガ
ラ金肥ト堆肥ト云フモノハ、地方ニ依ッテ
ハ割合ガ餘程違ハナケレバナラス事情ガア
リマス、サウ云フ事カラ矢張堆肥ノ得難イ
所デハ、中々堆肥ガ進歩シナイ、自給肥料
ガ進歩シナイト云フ傾キハアリマスケレド
モ、自給肥料ノ進歩ハ近年著シイノデアリ
マス、之ヲ更ニモツ獎勵シテ行ッタラ宜イ
デハナイカト云フコトデアリマスケレバ、私

モ全ク異存ノナイ所デ、是非サウ致シタイ
ト考ヘテ居リマス

○川崎委員 チョット朝鮮ノ政府委員ニ承
リタイノデスガ、私ノ今伺ッタ天水田ニ依
ル百萬町歩、此平年作ノ數字ハ出ナイダラ
ウト思ヒマスガ、六十萬歩ノ方ハ比較的確
カナ數字ガ出サウナモノダト思ヒマス、ソ
レヲ答ヘテ貰ヒタイ
ソレカラ農林大臣ニ伺ヒタイノハ、私段々
質問應答ヲ承ッテ居ル中ニ、ドウシテモ解
クコトノ出來ナイ疑問ニ逢著シタノデアリ
マスガ、ソレハドウ云フコトカト云フト、
此法令ヲ實施シテ、サウシテ四億五千萬圓
ノ資金ニ依ッテ買上ヲスルト云フコトニナッ
タ結果、其時ノ數量ハドウ云フコトカト云
フト——是ハ概算デス、極ク概算デスガ、
此法令ノ結果カラ買上ゲル數量ハ約内地ノ
千百六十萬石ト、ソレカラ外地ノ七百萬石
ト、千八百六十萬石ト云フコトニナルノデ
スガ、現在手持ニナルモノガ先ヅ千三百
萬石トシマシテ、三千百萬石ト云フ數量ノ
モノガ茲ニ政府ノ買上米トナッテ、一番多イ
時ニハ三千百萬石ト云フモノヲ政府ハ貯藏
シナケレバナラスコトニナルト思フノデア
リマス、斯様ニ私ハ理解スルノデスガ、ド
ウデセウ

○荷見政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ、

本年ノ手持米ガ約千三百萬石程度ノモノデアリマス、ソレカラ其次ニ非常ニ豐作ノ場合ニ、千萬石ノ内地ノ買上ガ來年アルト云

フ場合ガ想像サレルト申上ゲタノデアリマス、尤モ其場合ニ百六十萬石ト云フモノハ季節調節ノモノデアリマス、ソレカラ朝鮮ノ方ハ七百萬石デアリマシテ、ソレガ今年内ニ二百五十萬石位買フト致シマス、是

モ豐凶ノ關係デ餘計ニ見込マナケレバイカスト思ヒマスノデ、矢張五百萬石、ソレデ合計千五百萬石トシマス、手持米ト合セテ

約二千八百萬石カ九百萬石ニナルノデハナイカト思ヒマス、是ハマア想像デアリマスカラ、非常ナ架空ナモノデアリマスガ、マ

ア三千萬石ヲ上ニ出ルト云フコトハ、今ノ米ノ狀態ナリ、全體ノ需給ノ關係ナリデ、來年度アタリニハマアサウ云フ場合ハナイ

デアラウ、併シ是ガ非常ナ豐作デ、ソレカラソレヘト買ヒマスレバ、三千萬石ヲ超エ

○川崎委員 大體三千萬石トシテ、臺灣ニ於

テハ米ノ保存ガ出來ナイヤウニ承リマスガ、サウスレバ矢張内地デ保存スル、朝鮮モ凡ソサウ云フコトニナルノデヤナイカ、サウスルト米ノ保存ハ内地デ大體ヤルト云フコ

トニナッテ、三千萬石ノ保存ガ出來マセウカ、私茲ニ非常ナ心配ガアル、ソレハドウ云

フ方法ニ依ッテ出來ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○荷見政府委員 只今ノ御話デアリマス

ガ、臺灣ノ分ハ只今マデ買入ラシテ貯藏ノ試驗ヲ致シタ事ハアリマセヌ、昨年カラ向フニ米穀部ノ事務所ヲ置キマシテ、試驗的

ニ買ヒマシタモノヲ、只今保存ノ研究ヲ致シテ居リマスルガ、ソレニシテモ臺灣ノ方

ノ數量ハ餘リ大キナコトハナイノデアリマス、大體朝鮮、臺灣ノ米ノ中デ、政府ガ餘

計ニ有チマスル機會ガ多ク想像サレマスノハ朝鮮ノ方デアリマス、之ニ付ハ今モ朝鮮總督府ノ局長ト御話合ラシテ居タノデ

スガ、矢張彼方ノ民間ノ倉庫アタリニ、相當ニ收容力ノアル倉庫ヲ造ラセマシテ、其處ニ保存ヲサセナケレバナラス、斯ウ思ッテ

○川崎委員 ソコヲモットハッキリ伺ヘマセ

ヌカ、三千萬石ト云フ米ハ日本デ貯藏ガ出來ヌノデアリマセヌカ

○後藤國務大臣 ソレハ出來ヌコトハアリ

マセヌ、ヤラウト思ヘバ三千萬石デモ、五千萬石デモ出來マス(川崎委員)野曝シニスレバ出來マス(ト呼フ)出來マスガ、政府ハ

三千萬石モ有ツ程度ニナナイヤウニ努力スルノデアリマス、是ハ餘リ大キナ聲デハ

申セマセヌケレドモ、内地ノ市場ヲ壓迫シナイ方法ニ依ッテ、或ハ日本以外ノ方ヘ出ス

ト云フ事モアリマセウ、又新規用途ヲ開拓シテ、出來レバ或ル程度マデ相當ナ數量ヲ處分致シタイト云フコトモ其爲メデアリマス、有ユル手段ヲ講ジテ、サウ云フ事態ノ、

最惡ノ場合デモ三千萬石持ツト云フヤウナコトガ十年度ナドニ起ラナイヤウニ努メル

ノデアリマス、併シ一切サウ云フ手段ハ講ゼラレナカッタシテモ、一地酷イ場合ヲ

考ヘルト、三千萬石持ツト云フヤウナコトガ起ルカモ知レナイ、若シ此手當ラセズシテ置キマシタナラバ、若シサウ云フ事態ガ

來ル——來ルカ來ナイカ分ラヌガ、想像サレルト云フヤウナ頃ニナレバ、内地ノ農村ノ人ノ爲ニハ非常ニ不安ヲ生ズル譯ニナリ

マスノデ、其用意ダケハ致シテ參ラナケレバナラスト云フ意味ノ事ヲ申上ゲタ譯デアリマス

○川崎委員 ソレヲ承ルトドウモ何ダカ不

安心ニ思ヒマス、三千萬石持タヌヤウニシタイト言ハレル、持タヌヤウニスルナラバ、整理米ガ出來テ、今度ハ逆ニ三千萬石ノ買入資金ガ要ラナイト云フコトニナル、三千

萬石ノ買入資金ニマダ餘裕ヲ取ッテ、四億五

千萬圓ノ準備ガ要ルト片方デハ言ウテ置イテ、サウシテ一方デハ三千萬石ハ持タヌヤウニスルノダト言フ、ドウモ實際ハ三千萬

石ハ貯ヘラレナイ、貯ヘラレナイノダケレドモ、サウ言ハナイトナラヌカラト云フノデ御言ヒニナッテ居ルヤウニシカ取レナイ、併シ是レ以上伺フ必要ハナイト思ヒマスカラ、此點ハ是デ措キマス

○胎中委員長 此際委員長ヨリ總理大臣ニ

御伺ヲ致シタイト思ヒマス、先日來東委員、高田委員、其他ノ各委員カラ、政府ハ臨時議會ヲ開ク意思アリヤ否ヤト云フ質問ニ對シテ、總理大臣ノ御答ニナッタ事ヲ此場合更

ニハッキリ致シテ置キタイト思フノデアリマス、總理大臣ハ臨時議會ヲ開クヤ否ヤト云フ質問ニ對シテ、只今提案シテアル案件

ハ應急對策デアアル、一年ヲ限度トシタ對策デアルカラ、是デハ到底米ノ問題ノ解決ヲ望ム譯ニ行カナイ、仍テ速ニ權威アル所ノ機關ヲ設ケテ、此處デ成案ヲ得タイト努力

スル、斯ウ云フ御話デアリマシタ、然ラバ若シ政府ガソレ等ノ機關ニ依ッテ成案ヲ得タ場合ニハ、必然ノ結果トシテ政府自ラ自發的ニ臨時議會ヲ召集シ、サウシテ議會ノ協賛

ヲ得ルヤウニ進マレル事ハ、當然ノ歸結ト

考ヘマス、併ナガラ未ダ其成案ヲ見ルニ至ラザル今日、臨時議會ヲ開クト云フコトノ決定ガ出来ナイ、斯ウ云フヤウナ御答辯デブッタヤウニ考ヘマスルガ、如何デアリマスカ

○齋藤國務大臣 昨日申上ゲマシタノハ其通りデゴザイマス

○小山委員 總理大臣ノ御出席ノ機會ニ、私唯一點ダケ御伺シテ置キタイ、而シテ此案ニ對スル私共ノ態度決定ノ重要ナル參考資料ニ致シタイと思フノデアリマス、ソレハ此米穀統制法案ヲ御施行ニナルニ付キマシテハ、政府トシテハ重大ナル決意ガナケレバナラヌト私共ハ考ヘルノデアリマス、固ヨリ此法律ハ頗ル重要ナル法案デアリマシテ、重大ナル決意ヲ以テ御遣リニナッタコトハ疑ヒマセヌガ、併シ之ヲ過去六箇月ノ間實施致シマシタ、而シテ今日四億五千萬圓ノ資金ヲ以テ更ニ調節ヲ致サナケレバナラヌト云フ事態ニ到リマシタ、其事情ヲ考察致シマスルト云フト、即チ統制法案ヲ御施行ニナリマシタ時分ニ、政府トシテハ當然是ダケハ覺悟ガナケレバナラナカッタ筈デアルト思フ、其一點ガ缺ケテ居ルカノ如ク私共ハ思フノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアルカ、申上ゲルマデモナク、此米穀

統制法案ト云フモノハ、法律ノ力ヲ以テ需

要供給ノ、所謂經濟自然ノ原則ヲ人爲的ニ阻止シ、即チ米價ヲ吊上ゲルト云フ法律デアリマス、斯ウ云フ人爲政策ヲ以テ物價ヲ吊上ゲテ置カウト云フコトハ、取モ直サズ生産ノ獎勵ト云フ法律デアリマス、統制法案ノ力ヲ以テ米價ヲ吊上ゲル、米價が高クナレバ、ソコニ經濟自然ノ原則トシテ、農民ハ益生、產ヲ盛ニスルト云フコトハ、是ハ自然ノ原則デアリマス、所ガ其自然ノ原則ト云フコトバカリデハアリマセヌ、過日來總理自ラ言ハレタ如ク、所謂天候ニ惠マレタ、何人モ豫期スルコトノ出来ヌ事情カラ今日ノ事態ヲ致シタモノデアルト云フコトハ、萬々諒承致シマスルケレドモ、併シ一方只今申シマス通り、經濟ノ原則ニ反シタ法律デアリマス、此經濟ノ原則ニ反シタ法律ヲ施行シヨウト云フ時ニ於テハ、茲ニ一大決心ガナケレバ行ハレマセヌ、苟モ統制經濟ヲ行ハウト云フ時ニ於テハ、少クトモ獨リ米穀問題バカリデナク、何レノ場合ニ於キマシテモ、重大ナル決意ガナケレバナリマセヌ、ソレハ何デアルカ、先程來農林大臣モ、或ハ過日大藏大臣モ此席上ニ於キマシテ、非常ニ國帑ヲ費ス、併シ事態茲ニ到ッテハ致シ方ガナイト仰セラレタ、現在ノ狀

況ニ於テハ其通りデアリマス、此何億圓ト

掛ル金ガ、他日ドウナルカト云フコトヲ考ヘマスルト云フト、總テ是レ國民ノ負擔ニ歸スルモノデアルト私共ハ憂ヘテ、過日來各委員ガ熱心ニ質問應答ヲ致シテ居ルノデアリマス、此金ヲ幾ラ使ッテモ宜イト云フ行キ方ナラバ、所謂國家ノ權力ヲ以テ重大ナル決意ト云フコトハ考ヘナイデモ宜シイ、ダガサウハ行カヌ、ソコデ其重大ナル決意ト云フコトハ、現在ノ問題デハドウ云フコトニナッテ來ルカト申シマスと云フト、色々茲ニ考察サレマセウガ、過日來此委員會ニ於テモ、屢々問題ニナリマシタ、而シテ政府自ラ御考ニナリマシタ——最初私共ハ總理大臣自ラ御考ニナッタト考ヘラレル、即チ外地米ノ統制ト云フコトヨリ外ニ私ハ少クトモ此統制法案ヲ實施スルト云フ時ニハ、其決意ガナクシテ出來ヌコトダと思フ、左様ニ考ヘル、若シ此決意ナクシテ、統制法ヲ其儘進メテ行カウ、サウ云フコトニナリマスト、高橋大藏大臣モ言ハレタ如ク、金ガ幾ラ掛ルカ知レヌ、幾ラ掛ッテモ仕方ガナイト云フ結論ニ陥ラザルヲ得ナイ、斯様ニ存ズルノデアリマス、ソコデ私總理大臣ニ此場合御尋シテ置キタイコトハ、統制法案ヲ實行シテ行カウト云フ御考デアル以上、

相當ナ決心ガアッテ國家ノ權力ヲ以テ、相

當ノ決心ノアル處置ヲサレルト云フ決意ガナカッタナラバ、此統制法案ノ實行ハ經濟ノ原則ヲ無視シタ遣方デアリマシテ、到底此實行ハ覺束ナイ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、其點ニ關スル、即チ此經濟原則ヲ無視シテヤル以上ハ、國家ノ權力ヲ相當ノ決意ヲ以テ行フト云フ決意ガナケレバナラヌ筈デアルト云フ、其政府ノ御決心ニ關シテ、總理ノ御意見ヲ伺ッテ見タイノデアリマス

○齋藤國務大臣 大變御尤ナ御意見デアリマス、ソレガ即チ最モ吾々ノ心配スル點デアリマス、即チ此委員會ヲ開イテ、根本的ノ何ヲ考究スルト云フコトガ、即チソコニアルト思ヒマス、何處迄モヤハリ御話ノ如ク人爲的デアラウガ何デアラウガ、御協賛ヲ得タ米ノ統制法ハ、兎ニ角是デ行クヨリ外ナイ、皆様ノ御決議モ出來テ居リマスルガ、政府ノ方デモ其積リデ行ク考デアリマス、ソレヲ活カシテ方法ヲ講ジテ行クト云フヨリ外ニナイノデアリマス、ソレヲ致サウト云フノデアリマス、併シ此處デ斯ウ云フコトヲシマスと云フコトヲ申上ゲ兼ネルト云フコトハ、此間カラ申ス通りデアリマス、決心ハ有ッテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ風

ニ進ミマス。ト云フ方法ヲ申上ゲルコトハ、今日ハマダ出來ナイノデアリマス、ドウゾ左様御諒承願ヒマス

○高橋委員 段々ニ總理大臣竝ニ農林大臣、其ノ他ノ政府委員ノ答辯ヲ承テ、吾々ハ非常ニ戸迷ヲ致シテ居ルノデアリマス、米穀統制法ノ發動ノ初期ニ當ッテ、最モ大切ナル米ノ出廻期ニ於テ、十分ナル機能ヲ發揮シ得ナカッタコトハ隠レナイ事實デアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、米穀統制法ノ發動ト云フモノハ失敗ニ終ッテ、斯ウ簡單ニ申上ゲテモ宜カラウト思フノデアリマス、是ノ善後處置トシテ、今日種々ノ工作ガ行ハレテ居ルトモ見エルノデアリマス、サウ見テモ差支ナカラウト思フノデアリマス、米穀統制法ニ於テ、十分其機能ヲ發揮スルニハ十一、十二、一、二、三月、此米ノ出廻期ニ於テ十分有效ニ發動シナケレバナラス、殊ニ米穀統制法ノ制定當時ニ有力ナル附帶決議ト致シテ、外地米ノ統制ヲ徹底的ニ政府ハ之ヲ講ズルノ必要ガアルト云フコトヲ條件トシテ統制法ハ制定サレタ、議會ハ其意味ヲ以テ協賛ヲ與ヘタノデアリマス、然ルニ米穀統制法ノ發動ノ時期ヲ失シタ四月以降ニ效力ヲ生ズルヤウナ茲ニ統制法ノ形ヲ取ッテ、外地米ノ諸案ガ出

テ居ルノデアリマスガ、固ヨリ其效力ノ少ナイコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、私共ハ心配シテ居ルノデアリマス、今日ハモウ手遅デアアル、統制法ノ第一期ノ發動ハモウ既ニ失敗ニ終ッテ、農民ノ多クハ政府ノ行フ米穀對策ニ依ッテハ利益ヲ是ヨリ受クルコトハ洵ニ僅少デアアル、唯單ニ殘サレタ問題ハ、米ノ商品トシテノ經濟、政府所有米ノ處分ト云フヤウナコトニ付テハ、統制法其他ノ附屬、或ハ之ニ關聯スル法令ノ效力ハ十分現ハレルデセウ、併ナガラ農民ノ經濟ト云フコトニ付テハ、殆ド沒交渉デヤナイカト思ハレル程、中農以下ノ農民ノ經濟ニハ關係ガ薄イノデアリマス、併ナガラ今年バカリガ問題デヤナイ、吾々ハ來ルベキ年度ニ於ケル問題ヲ注視シテ居ルノデアリマス、是ニ於テ只今問題ニナッテ居ル、諸案件ノ如キハ、要スルニ八年度ノ米ヲ如何ニ米穀統制法ノ趣旨ニ適フヤウニ導クカト云フヤウナ問題ニ對スル工作デアッテ、來年度即チ昭和九年度產米、米穀年度ニ於テ昭和十年米穀ノ上ニ於ケル所ノ對策トシテハ、不徹底極マルモノデアリマス、ソレデ吾々ハ斯ノ如キ對策ヲ以テシテハ來年度ニ於ケル所ノ米穀對策ト致シマシテハ、不安心極マルモノデアアル、斯様ニ考

ヘルノデアリマス、ソレデ是非共政府ニ於テハ臨時議會ヲ開イテ、其對策ニ付テ議ヲ整ヘテ貰ハナケレバナラスト云フ主張ガ強イノデアリマス、既ニ米穀ノ經濟ニ關スル限リニ於テハ、種々ナル有力ナル調查會ヲ開カレ、是デ十分研究調查ヲ遂ゲラレタノデアアル、遂ゲラレタル案件ガ行ハレズニ、茲ニ其儘殘ッテ居ルノデアリマス、私共ハ過去ニ於ケル所ノ諸種ノ調查會ニ於テ調査研究サレテ得タル其結果ヲ、政府ガ國政ノ上ニ於テ實現シテ貰ヘバソレデ十分ナリト考ヘル、新シイ工作ナドノ必要ハナイ、新シイ研究ナドハ何モ必要トシナイ、斷ノ一字アルノミト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、私共ハ更ニ調査研究ノ要ナシ、調査會等ヲ設クル必要ナシ、直チニ臨時議會ヲ開イテ、過去ニ於テ調査サレタル所ノ其結果ヲ國政ノ上ニ實現サレルト云フコトガ必要デヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ總理大臣ノ御感想ヲ承リタイ

○齋藤國務大臣 今日ハマダ臨時議會ヲ開イテ提案スベキダケノ案ガ出來テ居リマセヌ、ソレ故ニ先刻モ申上ゲマシタ通りニ申上ゲテ居ルノデアリマス

○胎中委員長 三善信房君

○三善委員 簡單ナコトデアリマスカラ、總理大臣ノ御明答ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、昨日豫算總會ノ時分ニ、大藏大臣ニ對シテ濁酒ノ問題ノ質問ガ出テ居ッタノデアリマス、是ハ一ツハ米ノ消費ト云フ方面カラト、モウ一ツハ農家ノ經濟事情カラモ出テ來テ居ルヤウデアリマス、今米ノ供給ガ過多ニナッテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、今日ノ供給過多ノ狀態ニ於テハ、一面ハ生産ノ制限ヲシナケレバナラス、一面ハ消費ノ増進ヲシナケレバナラス、其消費ノ増進ヲスル上ニ付テ、自家用ノ濁酒ヲ許シテヤッタラ消費ノ増進トナルデアラウ、又今日農家ノ經濟狀態ヲ見マシテモ、農家ノ支出ノ中デ酒ノ代金ト云フモノハ、相當多額ニ上ッテ居ルノデアリマスガ故ニ、之ヲ農家ニ許シテヤッタラ、一面米ノ消費ノ増進トモナルガト云フコトヲ議員ガ質問ヲ致シマシタラ、大藏大臣ハ自分モサウ思ッテ居ル、是非ヤリタイト思フ、或ハ此爲ニ一面酒造稅ガ少クナッデモ、ソレダケノ犧牲ヲ拂ッデモ、是ハ一ツヤラナケレバナラスト云フコトデ、今日ノ新聞デハ何カ農林大臣モ御贊成ノヤウデアリマシタガ、總理大臣ハ之ニ對シテ御同意デアリマスカ、御同意デアルトスルナラバ、之ヲ斷行スルノ御意

思ガアルカドウカ、此二點ヲ明確ニ御答ヲ得タイト思ヒマス

○齋藤國務大臣 其問題ハアル問題デアリマシテ、新シイ問題デハナイノデアリマス、殊ニ朝鮮ナド若シサウ云フコトガ許サレマシタナラバ、非常ニ人民ハ喜ブドラウト思ヒマス、又米ヲ作りマス上ニ付テモ宜イドラウト思ヒマスケレドモ、併シ是ハ今申サレマシタ通り税、其他ノ色々ノ關係ガアリマシテ、單純ニ今直チニ斷行スルト云フコトハムヅカシイノデアリマス、私ナドモ度々サウ云フ問題ニ付テハ考ヘテ來タノデアリマスガ、大藏大臣モ決シテ他ノ點マデ能ク考ヘテ申上ゲタノデハナカラウト思ヒマス、是ハ宿題ニシテ置クヨリ外ナイト思ヒマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○三善委員 宿題ニナサツテ御考ニナルノハ宜シイデセウガ、兎ニ角齋藤總理ハ常ニ調査研究ト云フコトバカリ言ハレルノデアリマスガ、是ハハッキリ分ッテ居ル、米ノ消費ノ増進ニモナリ、或ハ農家經濟ヲ緩和スル上ニ於テモ宜イト思ヒマス、昨日大藏大臣ハ假令一億圓ノ酒ノ税金ガ少クナツテモ、其事ハヤッタガ宜イト思フ、斯ウマデ言ハレマシタ、財政ノ臺所ヲ握ッテ居ラレル所ノ大藏大臣ガサウ云フ風ニ主張サレルノデ

アリマスカラ、總理大臣ハ當然御同意ニナラナケレバナラスト思ヒマス、大體趣旨ニハ御同意ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○齋藤國務大臣 御同意致シ兼マスカラ、ドウカ御諒承ヲ願ヒマス

○胎中委員長 福井甚三君

○福井委員 私ハ總理大臣ニ一ツ御尋シテ置キタイノデスガ、此米ノ問題ノ重要ナルコト、又現内閣ノ組閣ニナリマシタ、一ツノ非常時ノ重大ナル問題デアルト云フコトハ今更申上ゲルマデモアリマセヌ、先般來ノ質疑應答カラ見テ見マスルト、米穀ニ對スル根本對策ト云フモノハ、ドウモ政府ノ説明ヲ承テ吾々委員ガ満足スルダケノ答辯ヲ得ナイコトヲ洵ニ遺憾ト致シテ居ル、満足ガ出來ヌ爲ニ毎日々々質問ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、一向吾々委員ガ満足致シテ、此案ニ直チニ贊成シヨウト云フ氣分ニハ、國家非常時ノ此場合ニドウシテモナレナイノデアリマス、就キマシテハ朝鮮ノ外地米ノ對策ニ對シマシテハ、政府ノ御意見モアリマスケレドモ、私等ノ考ヘテ居リマスコトハ、外地米ノ管理若クハ政府ガ之ヲ管理致シマシテ——而シテ朝鮮ニ於テハ米ヲ食ハナイ國民ガ澤山居ルト云フコトハ事實デゴザイマス、是等ノ者ニ對シテ、

今日ノ此文化ノ發展、殊ニ我國ノ發展致シテ居ル現状カラ考ヘマシテモ、同ジ國民デアリナガラ米ヲ食ッテ居ラスト云フヤウナ情ナイ國民ヲ存在セシメテ置クト云フコトハ、洵ニ是ハ立憲政治ノ要諦デナカラウト

思フ、斯ウ云フ米ヲ食ハナイ者ニ米ヲ食ハスヤウニ獎勵ヲスルト云フコトニ政府ガ力ヲ御盡シナリマシタナラバ、此外地米ノ統制ガ成リ、總テ消費需給ノ關係ガ圓滿ニ行ハレテ、其結果ハ内地米ニ惡影響ガ來ナイコトニナルデアラウ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、假ニ朝鮮ノ十年間ノ平均ヲ見マシテモ、十年前ニハ國民一人ニ對シテハ大抵——是ハ大昔カラ申ス通りニ、一人ニ付テ一石ト云フ標準ヲ立テ、居リマスケレドモ、今日色々ノ食料品ガアリ、色々ノ經濟關係カラシテ、十年前ニハ一人ニ付テ六斗四升バカリガズツ消費サレテ居タト云フ實例ニナツテ居ル、然ルニ爰ニ三年前カラノ統計ヲ見テ見マスニ、六斗四升ガ四斗四升、若クハ四斗ト云フヤウニ消費ガ少クナツテ居ル、之ヲ一人ノ消費ノ基準ヲ六斗マデニスルヤウニ獎勵ヲ致シマシタナラバ、此外地米ノ統制ナリ總テノ解決ガ付キハシナイカト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テハ總理大臣ハ永ラク彼方デ御統治ニ

ナツテ、其職ニ居ラレタカラ能ク御承知ノ筈デアリマスカラ、是等ニ對シテノ御感想、此獎勵ニ對シテノ御考ヲ承ッテ置キタイノデゴザイマス

○齋藤國務大臣 朝鮮ニ於キマシテモ、只今御話ノ如ク、成ベク米ヲ食フヤウニ勸メル方ガ宜シイト云フコトハ、數年前ヨリ唱ヘラレテ居リマスシ、又試ミテ居ルノデアリマス、現ニ滿洲粟ノ輸入ガ幾分宛減ッテ居リマスコトモ其影響デアラウト思ヒマス、又決シテ米ヲ嫌ッテ居ルノデヤナイノデアリマスカラ、是ハ矢張サウ云フ仕向ヲシマスルコトハ、御意見ノ通り必要ダト思ッテ居リマス、是ハ尙ホ當局者ト能ク相談致ス積リデアリマス

○福井委員 私ハソレハ要スルニ外地米ノ米價ノ調節ヲ圖リ、外地米ノ移入統制ヲ圖ル上ニ於テ第一要件ニナルコト、信ズルノデアリマス、サウ云フ點ニ於テモマダ御調査ノ御考ノヤウデアリマス、又先程委員長ヨリ確メラレマシタ如ク、今日此案デハ到底吾々ハ外地米移入ノ統制モ出來ズ、又内地米穀ノ統制モ完全ニ出來ナイ、ヨリ以上ニ此赤字ノ公債モ益殖エルデアラウト云フコトデ、國家ノ前途ノ爲メ、今日ノ非常時ノ爲ニ、委員ノミナラズ、全代議士ガ心

配ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニソレニ對シテハ臨時議會ハ開カナイト云フ御辯明デアリマシテ、米ノ統制ヲ此案一本デ行カウト云フ所ノ御考デハ、吾々何ト致シマシテモ此案ノ通過ニ賛成スルコトガ、ドウモ仕惡イ點ガアルノデアリマス、過日來カラノ質問應答カラ見マシタナラバ、ドウモ此案デハ米穀ノ根本對策ニモナラズ、又外地米移入統制ニモナラヌノデアルカラ、愈々現内閣ニ於テ是等ニ對シテ臨時議會ヲ開カナイト言フシ、又直チニ有力ナル斯ウ

スウ云フ範圍ニ於テ調査會ヲヤルト云フ御言明ガナイ限りハ、此案ニ直チニ私トシテハ賛成スルコトガ出來ナイ、其結果自然朝鮮米ヲ管理スルコトカ、或ハ又朝鮮米ノ移入ニ對シテ農林大臣ノ認可制度ヲ採ッテ統制ヲ圖ラウ、又外地米ノ管理ヲヤッデ行カウ、斯ウ云フ修正案ガ自然出ヤシナイカト云フ

テ、ドウ云フ結果ガ生ズルカト云フト、是ハ皆異口同音ニ言ヒマスル通りニ、外地ニ於テハ増産獎勵ニナッテ、決シテ生産ノ制限ニハナラズシテ、必ズ結論ハ増産獎勵ニナルト云フコトヲ皆考ヘテ居ル、斯ウ云フ斷定ヲ私共ハ有ッテ居ル

コトニナルバカリデナク、即チ外地ノ生産者ハ、自己ノ利益ニ依ッテ内地ニ持ッテ行ッテ賣ッテモ宜シ、自己ノ利益ニ依ッテ朝鮮デ賣ッテモ宜イト云フコトニナル、殊ニ先刻ノ河野君ノ御質問ニ對シマシテノ局長ナリ、或ハ農林大臣ノ御説明ニ依ルト、詰リ高イ方ニ賣ッテ宜イ譯デアアル、統制法ニ依ッテ内地デ——詰リ内地ニ來ラレテハ統制法ノ維持ガ困難ダカラ、少シ高ク買フト云フコトデアアルナラバ、朝鮮人ハ喜ンデ賣ル、臺灣人ハ喜ンデ賣ル、併シ桁下

ノガ今日ノ空氣デアリマス、サウ云フ空氣ガ現ハレテ參リマシテ、政府ト交渉致シマシタ時ニ、其修正案ニ對シテノ御意見ヲ——御承認ニナルカ否ヤ、又ソレニ對シテノ御所感ヲ一ツ承ッテ置キタイノデアリマス

○齋藤國務大臣 ソレハ昨日モ大體申上ゲマシタ通り、修正案ガ若シアルトスルナラ

第三ニハ差別待遇ナド、云フ間違ッテ話ガアリマシテハ、是ハ逆サマデアアル、詰リ外地ノ米ノ生産者ト云フ者ハ、賣リマス方ノ立場カラ申シマス、利益ノアル方ニ持ッテ行ク、朝鮮デ政府ガ御買ニナレバ、其方ガ内地デ賣ルヨリモ利益デアルト云フナラバ朝鮮デ賣ル、併ナガラ朝鮮デ御買ニナッテモ、内地デ統制法ニ依ッテ御買上ニナル方ガ、算盤ヲ採ッテ見テ、内地ノ方ニ持ッテ行ッテ方ガ得ガ行クト云フコトニナルト、悉ク朝鮮ノ米ハ朝鮮デ賣ラズシテ、内地デ賣ル、詰リ利益ヲ選擇シテ、即チ生産者ノ利益ニ依ッテ、或ハ朝鮮デ御賣リニ申ス、或ハ臺灣デ御賣リ申ス、或ハ内地ニ行ッテ御賣リ申スト云フ風ニ、非常ニ利益ヲ此法律ニ依ッテ得ルト云フコトデアリマス、此三件ハ皆委員會ニ於テ認メテ居ルト私共ハ思フ、詰リ此法律ガ出來マシタバカリニ、朝鮮ニ於テ、或ハ臺灣ニ於テ、生産制限コロノ話デヤナイ、増産スルコトニナル、増産スル

——優待ヲスルト云フ結論ガ今度ノ法律ニ依ッテナク、斯ウ云フコトガ私共ノ解釋ノ中ニ皆入ッテ居ル、詰リ一面カラ言フト、ドウシテモ國費ガ多端ニナッテ來テ、此儘デ居ッテハ間ニ合ハヌカラ、何トカシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ政府ノ本意デハナイガ、唯焦眉ノ急ニ間ニ合ハセル爲ニヤルト云フ思召デ、斯ウ云フモノガ出デ居ルト云フコトハ事實デアアル、サウシテ一年限りニシヨウ、外地ノ生産者ヲ優遇スルコトニナル、増産ニナル、斯ウ云フ結論ニナル

ト思ヒマスガ、首相ノ御心境ハドウ云フノ
カ、之ヲ御尋シタイ、折角同僚ノ小山君ヨ
リモ尋ネマシタ通り、統制法ヲヤル以上ハ、
場合ニ依ッテハ國家ノ權力ニ依ッテ之ヲ遂行
シテ行ク、國家ノ權力ニ依ッテ場合ニ依ッテ
ハ外米ハ制限ヲ付ケテ、内地ニ來ナイト云
フダケノ、此統制法ヲ維持スルト云フ決心
ガ付カヌケレバ斯ウ云フモノハヤレナイ、
ソコデ外米ヲ抑ヘ付ケルト云フ力ハアッテ
モ金ガ足ラナイ、是等ハ國家ノ負擔ニ堪ヘ
ナイ、金ガナイト云フダケデ、斯ウ云フコ
トヲヤリ散ラシテ、實際的明カナ事實ヲ其
儘ニシテ置クト云フコトハ、總理ハ堪ヘラ
レナイ筈デアル、總理ノ之ニ對スル御心境
ヲ承ッテ置キタイ

○齋藤國務大臣 ソレハサウバカリ論ズレ
バサウモ聞エマスケレドモ、是ハ少シ朝鮮
總督府ナリ、朝鮮ニ居ル所ノ官憲ノ努力ス
ベキ所モ御覽下サラナケレバナラヌ、私共
ハ極力其方面ニ於テ努力ヲサシテ、我儘ヲ
サセナイ方法ヲ執ル積リデアリマス、サウ
シテドウシテモイカヌ時分ニハ、何カ法律
ナリ何ナリデヤラナケレバナラヌカモ知レ
マセヌケレドモ、私共ハ左様ニ認メテ居ラ
ヌ、是ハ出來ルト思ヒマス

○胎中委員長 農林大臣ニ對スル東武君ノ

質問ヲ許シマス

○東委員 私ハ質問デヤアリマセヌ、動議
ヲ提出致シマス、モウ本案ニ對スル質問ハ
連日繼續致シマシテ、各委員モ熱心ニ質問
ヲシ、政府當局ノ答辯モ十分承リマシタガ
故ニ、此以上質問ヲ繼續スル必要ヲ認メヌ
ノデアリマスカラ、此程度ニ於テ質問ヲ打
切リタイト思ヒマス、併ナガラ若シ已ムヲ
得ナイ場合ガアリマシタ時分ニハ、更ニ委
員長ノ許諾ヲ得テ、討論ノ前ニ質問ヲヤル
コトモ出來ルノデアリマスカラ、左様ナコ
トニ取計ヲ願ヒマス

○胎中委員長 東君ノ動議ニ御異議アリマ
セヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○胎中委員長 然ラバ左様ニ決シマシテ、
大體質問ハ是デ終了致シマス、サウシテ若
シ必要ガアレバ討論ニ先ッテ更ニ質問ヲ許
スコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會シ、
次回ハ追ッテ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後三時五十一分散會

昭和九年三月二十日印刷

昭和九年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社